新京日日新聞
夕刊　七月十一日
本紙定價　一部五錢　一ヶ月壹圓
廣告料金　普通一行壹圓五拾錢　特別一行貳圓五拾錢
發行所　新京永樂町四ノ一　新京日日新聞社
電話（編輯局專用）③三二二五　（營業局專用）③三三〇〇
發行人　十河榮忠
編輯人　松本勇
印刷人　水越内之介

退却する外蒙兵を火焰發射機で燒殺
慘虐ゲペウの督戰行爲

【ハルハ河畔にて十一日發國通】十日のわが夜襲戰においてハルハ渡河地點に萎縮した敵はわが巧妙なる包圍作戰により潰滅的な打擊を受け夥しい遺棄死體を滿領内にさらし、敗殘の慘めさを暴露してゐるが、この越境外蒙軍は、わが包圍圈の刻々縮小されるを豫知しつゝもわれに頑强な抵抗を試み他面ソ聯ゲ・ペ・ウ監視隊の暴虐な督戰行爲があり、八日以來外蒙領に遁れんとして遁れ得ず已むなく死物狂ひの抵抗を行つたもので、敵ながら一抹の憐れを留めてゐる

十日午前三時頃わが精鋭部隊が殘敵掃蕩戰を敢行しつゝハルハ河渡河點に進擊した際、僅かに殘された渡河點たる橋梁、これも半ばわが軍の砲爆擊に遭ひ車輛の通行は不能となつてゐたが、この橋梁の袂に一臺の敵戰車らしきを認めたのでわが○○砲が早速これに向つて砲擊を加へんとしたが、これより先に敵はどつと橋梁目蒐けて雪崩れ込み逃走を企んとした刹那、この怪戰車は逃走兵に向つてパツと紅蓮の焰を吐いた、バタバタとソ外蒙兵が倒れる「アツ」火焰發射機だ、外蒙ソ兵は味方の新鋭機の犠牲となつて燃え上るもの、わが部隊の正面に踵を返すもの、そこに凄しい焦熱地獄繪を繰展げた、わが將兵はこの世にも奇異な狀況に暫し見入つてゐたが、火焰は約十分間位續いて止んだが狼狽する敵を蹂躙して躍り出たわが勇士によつてこの火焰發射機は忽ちわが方の鹵獲するところとなり遁れんとする搭乘者を引摺り出してみるとまさしくソ聯ゲ・ペ・ウ監視兵だ、しかも外蒙兵の越境を使嗾し、わが軍の攻擊に遭つて外蒙領に遁れんとすや唯一の渡河點に火焰發射機を持出してこれを燒殺さんとする督戰行爲は、ハルハ河一面において行はれつゝあつた模樣で天人倶に許さぬゲ・ペ・ウ監視兵の慘虐行爲に正義皇軍將兵を痛く憤慨せしめてゐる

單機、卅六機擊墜
リヒトホーヘンの再來 篠原機の殊勳

【○○基地十日發國通】百機擊墜を目指して精進する野口部隊は十日の戰果卅二を加へ遂に待望の百を超え、擊墜機數百十一の多數に上つて全隊員は雀躍してゐる、このうち篠原弘道准尉は同日の八を加へ單機卅六の大量をかせぎ、リヒトホーヘンそこのけの奮戰振りで野口部隊の華と謳はれてゐる

兩部隊奮戰詳報

【○○基地にて十日發國通】島田、本村兩部隊○○機は十日田添部隊の行動掩護のため出動し午後零時卅分頃戰場上空において敵戰鬪機約六十數機と遭遇、地上攻擊と相應じ激烈な空中戰鬪の後E十五型廿三機、E十六型十六機ほか他の空中戰鬪による四機を加へ確實に敵機四十三機を擊墜した▼【○○基地にて十日發國通】十日正午の空中戰は全く理想的に行はれたもので戰果に比しわが不時着一機（それも翼を少破）といふに過ぎずしかも戰場上空において演ぜられたゞけに外蒙ソ地上部隊に與へた形響は蓋し甚大なものがある、即ち島田、本村の部隊は田添部隊の行動掩護のためハルハ河、ホルステン河畔の戰場上空二千の高度より警戒中突如E十五型約廿數機が田添部隊目掛けて殺到した、早くもこれを發見した島田部隊は上空より彈丸の如く降下し忽ちその四機を擊墜した之に氣づいた敵は慌てゝぐつと右に旋回せんとして二機接觸しバラバラになつて四散したところへ本村部隊は猛然これに戰鬪加入し、兩部隊は密接な連擊を保持しつゝその全機を擊墜し一旦部隊を集結した折再び敵機四十數機を發見、又もこれに突込んでその廿機を確實に射止め悠々歸還した、この戰鬪中地上の友軍部隊は日章旗を打振り美しい聯援を見せ歸還に際しては歡呼の聲を送り華々しい戰果を祝した

ハルハ河右岸の敵砲擊
（新京特別空輸）（軍許可濟）

重慶政府非常時超過利得稅徵收

【香港十日發國通】財政難に喘ぐ重慶政府は從來の所得稅の外に新たに非常時超過利得稅を徵收するに決し九日右に關する法令を發した、この新稅は所得稅附加稅の形で徵收され民間事業と半官半民事業の區別なく資本金二千元以上の商工企業にして資本金の二割以上の利益を擧げるものより徵收されるものである

海外華僑に警告す
蔣政府の亡國欺瞞政策を暴露
汪精衛重ねて呼掛く

【上海十一日發國通】汪精衛は十日中華日報紙上に發表した論文に引續き更に十一日同紙々上に「海外同胞に警告す」と題する左の如き論文發表、各地華僑に呼びかけ、蔣介石の國民を欺き國を亡ぼさんとする欺瞞政策を暴露し、時局に對する華僑の認識是正を求めた、全文左の通り【寫眞は汪精衛】

□　□

海外同胞に警告す、余は最近實に奇怪なことを聽く、それは「當時は既に抗戰を主張してゐた癖に今日ではまた和平を主張するとは矛盾も甚しい」と言ふことである、しかし中日兩國が既に開戰したからには何處までも戰ひ抜いて

絕對に

和平の日が來てはならぬと言ふことはどうしたことであらうか、甲午の戰（日清戰爭）に破れたことは極めて不幸なことであつた、しかし當時の滿洲政府にはまだ愛國心があつた、戰に破れて戰敗を承認し媾和をした結果領土の一部を割讓し賠償金を支拂つたがそのため大部分の未だ失はれぬ土地と人民と主權を保全し得たのである、今日では戰に破れても尙戰敗を承認せず、まるで賭博打ちの仕業と同樣賭ければ賭ける程負ければ負ける程賭けると言つた有樣で、さらりと手を引くことを知らないのである、これは往年の滿洲政府に較べて遙かに愛國心がないのである、「媾和した結果得るものは亡國的條件に過ぎない」ことといふのなら媾和は意味ないことである、但し現在日本が提出してゐる條件は睦隣友好、共同防共、經濟合作であつて亡國條件とはいへない、あるものは「日本は共同防共、經濟合作の名を藉りて中國の軍事、經濟の獨立自由を完全に剝奪するのだ」といつてゐるが、これは間違ひである、共同防共、經濟合作にはその内容と範圍があるはずで、媾和の時においてその内容と範圍を確定すればよいのに何故に架空な言說に拘はつてのみゐるのだらうか、不可解である、またあるものは「日本に果して誠意があつて

和平を

圖らんとするなら何故まづ撤兵し、尠くとも蘆溝橋事件以前の狀態にしないか、でなければ和平條件などすべて虛僞である」と云つてゐる、もとこの話も間違つてゐる、もと二つの國が交戰すればまづ停戰してから媾和し、媾和してから撤兵するのが通例である、蔣はすでに抗戰繼續を公言してをり、戰鬪はなほ行はれてゐる今日の狀態に撤兵を行ふ……

での中國軍は蚊にも劣つてゐる、それが一變して遊擊戰となつて失地の回復が出來るどころか戰も出來ないのだ、ではは彼等は何をしてゐるかと言へば地方を攪亂し、百姓を殺し、工業は破壞され、地方農村は兵火に遭ひ、商人たちまでもひどい目に遭ふと言ふのが實情である、彼等の行ふところは遊擊戰の美名の下に悉く百姓、商人を脅迫欺瞞して塗炭の苦に陷れてゐながらこれが焦土戰でありこれが最後の勝利の最大把握だ」などゝ云つてゐる、東晋南宋の時代には不幸にして外賊の侵すところとなつたが百年の久しきに亙つてまた安らかであつたのは「流寇」の數が多くなかつたからである、また明末の流寇は多數非常に多く、全國士は疲弊し、民力は盡きるに至たるものがあつたがこれに遭へばそれが明末より今日の狀態に較べればまだ優るものがある、蔣介石は上に憂慮すべきものがある……事委員會の委員長たる蔣先生は共產黨の尻馬に乘つて今の流寇主義を揭唱、「されど匪も地方保安隊も軍隊も遊擊隊に改變し、抗戰繼續も最後の勝利もこちらのものだ」といつてゐるが余は一言にしていはん、その結果は抗戰力不足して國家は滅び種族は滅してしまふのが關の山である

……賀のものである、余の十二月廿九日聲明では「內蒙附近の地點をもつて限度とす」と建議してゐるがこの問題はもとより重要である、しかし要するに和平條件については尙ほ討論の余地があるとは云へ決して亡國的條件とはいへないこれに反して繼續して戰をすればその結果はどんなものであるか、蔣は今年二、三月以來所謂全面總反攻擊といつてゐたがそれが虛僞の宣傳に過ぎなかつたことはすでに事實が證明してゐる、かくて抗戰繼續と言つても出來ることは遊擊戰を繼續するに過ぎない、所謂遊擊戰が流寇に過ぎぬとは余が曾つて述べたところであるが、これが蔣介石に奬勵されてゐるのみならず共產黨が操縱してゐることは言ふまでもないことだ、海外同胞の故鄕である廣東に昨年十月日本軍が入城してゐることは世間周知のこと、しかも

日本軍

の前進路に對して中國軍隊の攻擊したものは殆んどなく攻擊したものはたゞに蚊軍だけだつた、當時の陣地戰……

閉塞線全く完成
福州港の機能喪失す

【上海十日發國通】福州におけるわが海軍封鎖部隊は九日をもつて同港に對する○○米に及ぶ第一閉塞線を完全に敷設し、第二閉塞線も完成に近づきつゝあるので福州港は今やわが完全閉塞下に置かれ全くその機能を喪失するに至つた、また同港の川石島にあるイギリス系大東電信會社無電局はわが方に對し頻りに同局技師の復歸就業方を要求しつゝあるが、同局が從來支那軍に相通じわが作戰行動を妨害したる跡歷然たるものあるのでわが方は動がすべからざる證據を提示して右要求を一蹴した、なほ溫州においては第三閉塞線の完成をみつゝある

各地に反英の烽火

靑島　【靑島十日發國通】第三次支那側民衆の反英大會は午前十時より英國總領事館横の市公署前廣場において擧行されたが、前回を逐ふ每に支那側知識階級青年層の反英熱は深刻味を加へ、場內凄愴の氣漲る裡に隊伍堂々とデモストレーシヨンに移り、會衆は會場構隣の英國總領事館を取卷いて打倒英國をさけび、その一隊は同總領事館正門の門燈を破壞、盛んに投石を開始し直接行動に出んとしたが、日本海軍陸戰隊がこれを取鎮め大事に至らずして解散した

東京　【東京十日發國通】雨か風か日英東京會談を目睫に控へ帝都の空氣は一層緊張を見せてゐる折柄、英國のため富と自由と獨立を奪はれその桎梏に泣く印度三億五千萬民族の獨立を標榜して去る昭和九年八月發會式を擧げた大亞細亞獨立協會では十日午後六時から神田錦町の松本亭において同協會長和光米房氏はじめ役員約五十名それに印度獨立志士ボース、スピハリ氏をも交へて打倒英帝國の氣勢をあげた

【東京國通】天津租界問題を端緒とする反英運動は支那各地は勿論日本各地でも澎湃として起つてゐるが、東京では府市會議員によつて組織された反英市民同盟の主催で愈よ十四日午後一時から日比谷公會堂で反英市民大會を開催し大いに輿論を喚起することになつた

大阪　【大阪國通】在阪華僑各團體では十一日興亞反英運動在阪華僑大會を開催し日英會談の大成を祈り英國租界の回收を要望する旨の宣言決議を行ひ大阪英國領事館に援蔣行爲の即時停止方を要望した

熊本　【熊本國通】日英東京會談を控へ政府當局を激勵、英國側の反省を促すため來る十六日夜熊本市公會堂に九州各縣代表參集し暴英膺懲九州大會を開催するに決定した

ソ軍大隊長投降
赤軍酷使に戰意喪失

第二次ノモンハン事件勃發以來外蒙ソ軍兵士にして我が軍に投降したものは數十名に上つてゐるが、十日正午頃酒井部隊正面にて戰鬪中のソ聯軍大隊長以下十名が投降して來た、これら投降者の中には純然たる捕虜もあるが、その多くは戰意なくソ聯赤軍の過酷に耐へかねて逃走したものであるところに內部の暗黑面が窺はれる

日比野海軍最高指揮官來津

【天津十日發國通】北支部隊海軍最高指揮官日比野正治中將は軍事視察ならびに陸軍側その他關係各方面との打合せ交驩を遂げるため幕僚參謀長以下幕僚を隨へ塘沽より掃海艇で十日午後二時來津したが、租界問題で緊張の折柄中將今回の來津は各方面より注目されてゐる

その日く

期待された汪精衛はいまや蹶起した、われらはこれが支持を決した

□

その長論文に溢るゝ彼の人間的魅力を思ふ、蔣なんぞの及ぶ所でない

□

理論あり國民的心情あり、そしてラヂオを通じての熱辯あり、待望し得る

□

すでに支持を決したのだ、あくまでも、積極的にその道を進まねばならぬ

□

潰えゆく外蒙ソ軍、減り行くソ聯機、モスコーの白夜もまどらかであるまい

……聲あるものは「日本は和平を圖るのに何故蔣先生を相手にしないか」ともいふ、如何にもその通りである、しかし蔣先生は「日本の條件は中國の獨立自由を妨害せぬことを必要とする」といつてゐる、余個人の進退は問題でないからその方が何よりも

效果的

であらう、しかしそんなことをいふ者は一度蔣先生にお勸めしてみたらよい、途端に藍衣社が附け廻すであらう、海外の同胞たちよ、諸君は故國より遠く離れてゐるからその聞くことも間違ひだらけだ、一度故國に歸つてみるがよい、そしたら一切は立所に判る、若し救國の途がなければ余とゝもに死ぬまでだ、若し救國の途があれば余は諸君とゝもに救國の責任を負ふものである

孫民生部大臣

南滿方面視察中の孫民生部大臣一行は十一日午後八時十五分着はとで歸京する

人事往來

着京
▲藤井正之氏（商業）十日來京ヤマトホテル
▲中西小一氏（會社員）同
▲玉井又之亟氏（奉天高等法院次長）國都ホテル
▲伊藤莊氏（ガデリウス商會）同
▲水野敏雄氏（日滿商事）同
▲水谷富次氏（大倉商事）同
▲廣崎傳次郎氏（釀造業）同
▲坂本網市氏（滿洲特產工業取締役）同
▲熊平清一氏（金康製造業）同
▲三宅恒太郎氏（東邊實業銀行）同
▲松與三郎氏（二浦製鐵所長）同
▲飯田嚴氏（辯士）同
▲大橋久治氏（官吏）大都ホテル
▲丹下敏行氏（淸水組）同
▲大石新作氏（會社員）同
▲芦浦祥太郎氏（同）同
▲長次郎吉氏（映畫館業）同
▲福田稔氏（會社員）同
▲立上省氏（同）同
▲高倉豊信氏（官吏）同
▲粟倉長八氏（パイロット萬年筆社）同
▲有本猪太郎氏（會社員）同
▲中川庄次郎氏（商業）同
▲橋西郎氏（會社員）同
▲早良俊夫氏（竹中工務店）同
▲山本慶治氏（滿炭社員）滿蒙ホテル
▲南正樹氏（滿洲硫安會社理事）同
▲小林秀夫氏（木材商）同
▲鈴木延平氏（日滿商事）同
▲米內山震作氏（大連取引所長）同
▲野村太一氏（日滿鑛產）同
▲森田康太郎氏（日滿商事）同
▲兩角政衛氏（商業）三國ホテル
▲臼井隆介氏（會社員）同
▲大庭勘藏氏（同）同
▲小西榮治氏（商業）都ホテル
▲中野英次氏（同）同

出發
▲西山柳藏氏　十日奉天へ
▲松本龍氏　同
▲岡村三郎氏　同
▲友成靖一氏　東京へ
▲小鍛治直芳氏　鞍山へ
▲岡田悌藏氏　奉天へ
▲日向柄作氏　同
▲川村淸氏　同
▲笠井次郎氏　同
▲不破利輔氏　東京へ
▲秋山德太郎氏　同
▲全野米藏氏　吉林へ
▲吉野光雄氏　大連へ
▲關口八重吉氏　東京へ
▲熊井直元氏　橫濱へ
▲岡本繁氏　本溪湖へ
▲市川龍吉氏　大連へ
▲近藤榮司氏　哈市へ
▲林田常男氏　奉天へ
▲吉田鹿正氏　哈市へ
▲永吉仲國氏　奉天へ
▲屋方直吉氏　牡丹江へ
▲土居四郎氏　哈市へ
▲西山雅也氏　同
▲杉岡守一氏　吉林へ

四十萬市民のお台所へ福音

今年は二百萬貫へ 蔬菜大增產計畫

農村地區開發乘出し

國都四十萬市民お台所の自給自足を目指して努力してゐる新京特別市公署行政科では本年度は更に飛躍的增產計畫を樹立し郊外農村地區の開發に乘り出すこととなつた、即ち昨年度の蔬菜增產は四十萬貫でそのうち貯藏は二十二萬貫となつて居りこれに對し本年度の計畫では一躍二百萬貫の增產計畫をたて、貯藏庫を擴充し七十萬貫を貯藏、冬期より春期にかけて一齊に市場に送り出すことゝなつてゐる、貯藏場所としては既設貯藏庫全部四十萬貫と更に農家組合を開放して三十七萬貫をあて本年中に設立を豫想される食料品貯藏會社が農家組合の手を經て販賣を行ふことゝなつてゐる、貯藏庫設置場所並に庫數豫想は、淨月區三ヶ所十五庫、南河東區二ヶ所八庫、北河東區三ヶ所六庫、合隆區三ヶ所四個、大屯區四ヶ所四庫となつて居り、計畫貯藏蔬菜の種別貫數並は左の如くなつてゐる

種類	貫數
人參	八〇、〇〇〇
牛蒡	九〇、〇〇〇
白菜	四〇〇、〇〇〇
大根	九〇、〇〇〇
馬鈴薯	一〇〇、〇〇〇
甘藍	五、〇〇〇
[illegible]菜	五、〇〇〇
計	七七〇、〇〇〇

關東神宮奉贊會に 陸海軍より獻資

關東神宮御造營事業は其後順調に進捗中であるが、昨年十一月には奉贊會の設立を見各方面より多額の獻資を得て居ると共に勤勞奉仕の如きも昨年度に於て實に延人員三萬五千人の多きに達し在滿邦人の敬神崇祖を如實に示して居る次第である、然るに今回在滿陸海軍將士並各部隊より多額の獻資があり痛く當局を感激せしめて居る右に付當局は左の如く語つた

關東神宮の御造營當初より陸海軍より絶大なる御援助を受けて居たのであるが、今又多額の獻資を爲されたことは實に感激に堪へない所で眞に官民一致御造營に當ることを得る次第で當局としては一層其の責務の大なることを感ずる次第である

國防献金（寄託） 帝都ホテル女中さん一同

市內經路九三帝都ホテル津田ツネさん方の女中さん達は先にも本社を經て國防献金を行つたが、十日夜小野マサさん、橋本キクミさん、吉岡靜江さん、村上フクさん、大平ハツミさん、吉田マツエさんの六人が醵出した三十一圓を本社へ寄託して來たので直ちに關東軍を通じ國防献金の手續きを了した

默認するなら サービス料頂戴

增える慾張り喫茶店

過般中央通署管內喫茶店業者三十數軒より一律に五十錢以上飲食した時には一割サービス料徴收の許可方を同署保安課に申請したが、同係では時節柄四圍の諸情勢を考慮した結果正式許可をする時は種々弊害、顧客の反對などもあるので暫時今迄通り默認することゝなり、この旨業者に通達したが最近未徴收業者大半は默認のまゝならば取つた方が得と徴收し出したがこれをこのまゝ放置するに於ては明朗なるべき一般市民の休息所までもカフエー化さんとし一時の喫茶にまでも何かしら重苦しいものあるに鑑み取締當局に於ても再檢討の要に迫られ近く何らかの策に出るものとみられるが急速に對策が講ぜられるやう望まれてゐる

仲間を蹴り殺す

市內黑鶴子治安部直營煉瓦工場苦力李夢先（三〇）は十一日正午頃同僚苦力石昌峯（三四）が自己の布團を持ち出して入質に行くのを工場を脫出するものと誤解し、工場入口へ追ひかけて口論中石の陰部を蹴上げて即死せしめた、黑鶴子分駐所の屆け出により所轄四道街署では李を引致取調べ中である

前借踏倒し逃走

奉天市大和區柳町一〇料亭松鶴方藝妓小龍こと本籍奈良縣山邊郡二階當村嘉幡九八三松島ヒデノは去る六月二十八日午後買物に行くと稱し前借二千四百五十圓を踏倒して情夫とゝもに逃走したこと判明十一日中央通署保安係に取押方手配があつた

總務廳草取奉仕

さきに星野總務長官は吏道刷新の重要訓示を行ひ官吏の進むべき道を明示したが、精神訓練は先づ實踐からと星野長官自ら出動他の官廳に魁け勤勞奉仕の手始めとして十一日午後零時半から國務院構內の草取奉仕を實施した

賣約濟みの品が 一ケ月も店頭に

これ賣惜しみ新戰術

鐵關取引に司直の手が伸びて市內東四道街及び東五馬路北市場一帶の滿人不正鐵商人に斷乎鐵槌が下ろされてゐる折柄、市內日系百貨店に賣惜しみ新戰術が發見され、經濟警察の發動を俟たうとしてゐる

軍需生產の影響によつて蓄音機及び附屬品、レコードは戰時に於ける不急品として製造が制限されたため市內蓄音機店のストック數は著しく減少してゐるが需要は反對に激增してゐるので必然的値上げを見越した大同大街某百貨店では商品として陳列をしてゐる蓄音機レコードに賣約濟みの赤札を貼り一ケ月以上もそのまゝ陳列賣り惜しみを巧みな新戰術によつてカムフラージュしてゐたことが投書によつて判明したので首警保安科では新戰術撲滅のため調査に乘り出してゐる

麻藥に蝕れた ネオンの仇花

藝妓くずれ前借詐欺

最近市內カフエーに頻々として多額の金錢を借り申譯的に數日ホールに出ては次のカフエーで同樣手段を用ひ麻藥代を稼いでゐた藝妓のなれの果てが十日夜詐欺嫌疑で中央通署財前刑事に老松町老松ビル居住友人宅から檢擧された、宮崎縣生れ酒井久子（二八）で同人は昭和十年頃市內料亭曙に力彌と名乘つて相當賣り出したが、再度實家に送金の必要に迫られ齊々哈爾の料亭花に鞍替へして眞面目に働いてゐたところ一昨年春盲腸にかゝり同地醫者の進めによつてパビナール注射を行ひ全治したが、それがため抑つて麻藥の侵すところとなり、爾來中毒症狀を來し一日二十本からのパビネール注射をしなくては仕事も手につかない有樣に一月程前馴染客の滿拓社員大變良男氏＝假名＝の斡旋で樓主との間に前借金を月々返濟することにして來京したものゝ、中毒症には女の強い覺悟も勝てず所持してゐた五百圓程の衣類を入質し麻藥代に費消し盡し、果ては麻藥代稼ぎに日本橋通カフエー松竹に赴き種々虛言を弄し働くことに定め前後五回に亘つて百八十圓を前借費消し申譯に五日程ホールに出たが、何も出來ず逃げ出しダイヤ街カフエー新世界で同樣手段で四十圓を前借してこれも費消、その他曙當時の同僚からも數回に亘つて借金し麻藥注射に費してゐたところを檢擧されたもの

行商人慘殺事件 殊勳者に感謝狀

七月七日順天署管內小房身清水農場に發生した行商人慘殺事件に當つて犯人逮捕に殊勳を樹てた警察側張順天署長以下十名は十一日本廳に於いて[illegible]賞を、民間側[illegible]曙（一九）及び趙質屋組合長は新京防犯協會から金一封と感謝狀をそれぞれ授與された【寫眞は表彰式】

街の日記

御遺骨送迎打合

護國の華と散つた皇軍將士の御遺骨御送迎並に御通夜は市民の眞心に依りその都度嚴肅盛大に擧行され、銃後市民の精神高揚に大いに效果を收めてゐるが、更に十一日午後三時より軍關係、市公署並に各方面の關係者が軍人會館に集合し、更に一段と效果的合理的に御送迎並に御通夜を行ふための全面的研究討議を行つた

土產品座談會

新京商工公會商工相談所は曩に土產品振興助成の趣旨から滿洲みやげ品展覽會を寶山百貨店に開催多大の成果を納めたが、今後これが根本的助成策を講じ滿洲土產品の一段の向上を計るため十四日午後二時から同所會議室に於て在京斯界の權威者集合『滿洲土產品振興座談會』を開催する

簡閱點呼令狀

首都警察廳內大使館地方兵事員は、本年度簡閱點呼を令した者のうち無屆轉出所在不明のため令狀交付不能となつて保管してあるから至急首都警察廳警務科兵事股に出頭受領されたく、尚本人現住所心當りの方は電話二―五八六一又は二―一六一一の五〇へ通報ありたいと、因に所在不明者は左の八名である

新京軍事顧問部辻照太△新京今村部隊萩原眞吉△警務司通信股山崎爲△滿拓公社田村忠義△軍政部通信本所江口保二郎△西六馬路文和會館鹽田信一△長通路山田義雄△朝日通三九永淵英之

石炭 住宅 問題に論戰集中

首都聯協 愈よ十三日開幕

時局下銃後市民の各種問題を全面的にとりあげて擧行される第二回首都聯合協議會は愈よ十三日より三日間に亘り首都本部で擧行せられるが、提出全議案は二十一件に達し、眞剣な討議を繰り展げることとなつて居り全市民の關心をこの一點に集めてゐるが、中でも最も注目されるのは石炭に關する件、住宅に關する件小麥粉に關する件等が擧げられて居り第二日目午後にこれ等の重要問題が集中して居る

夫に告ぐ二人妻

石川縣金澤市新川除町二〇堀中外雄氏（三一）は家庭的に複雜な事情あるものゝ如く去る六日初旬妻子を置きざりにして家出し中旬頃新京に來京した模樣あるところから妻より、河北省生れ新京孟家橋後榮茂胡同二八號居住行商人張蓮升（三五）さんは去る二日妻趙春橋（一七）さんの油斷に乘じ四百圓を持ち出しそのまゝ家出したので新妻からそれぞれ十一日中央通署保安係に搜査方願ひ出た

盂蘭盆會 十三日から

各寺院賑やかな行事

燈籠流し或は盆踊りにと夏夜に纏綿たまる情緒を織り出して祖先の靈を慰める床しい盂蘭盆會は愈よ十三日から、市內各寺院に於て次の如く一齊に御盆の諸行事が繰り展げられる

▼金剛寺（祝町）1、十三日午後八時半より精靈お迎へ法要說教 2、十四日午後八時より檀信徒先祖總供養法要 3、十五日午後八時より大旋餓鬼法會塔婆廻向並に說教及び御詠歌供養 4、十六日午後七時より精靈奉送供養廻向並八時より燈籠流し（八時出發精靈船を引き兒玉公園池に奉送す）

▼經王寺（曙町）1、十三日より十五日毎夜八時まで法要、法樂加持說教 2、十六日午後一時より檀信徒先祖累代供養大施餓鬼法要、日支事變將兵戰死病歿英靈大施餓鬼會及び說教午後七時より西公園にて精靈流し

▼妙法寺（永樂町）1、十五日午後一時より大施餓鬼法會 2、十六日午後八時より燈籠流し

▼大正寺（曙町）1、十三日から十五日まで毎日午後一時より法要 2、十六日午後一時より支那事變戰病死者信者先祖の大施餓鬼會並に法話午後八時より本堂前で精靈送り

▼東本願寺滿洲別院（北安路）1、十三日から十六日まで毎日午後一時より盆法要午後七時半より勤行談話 2、十五日午後一時半より支那事變日滿戰歿將士合同慰靈法會

▼西本願寺（祝町）1、十三日より十六日まで毎日午前七時、午後一時、午後七時半の三回に亘りお說教 2、十四、五日の兩日午後七時より境內で子供の盆踊り

▼妙心寺（神泉路）十五日午後四時より盆法要並に導師の法話

▼雲洞宗新京別院（萬壽街）十五日午後二時より施餓鬼會

▼長春寺（曙町）1、十三日から十五日の三日間晝は檀信徒宅へ棚經をあげに廻る 2、十三日から十五日まで午後八時半から同寺で大施餓鬼を行ふ 3、十六日午前十時から鐵道北共同墓地で各宗合同の大施餓鬼に參加、午後八時から境內で精靈送り施餓鬼會尚お盆中毎夜說教と本山布教師河村契眞師の般若經の連續講話

働かう！夏休み

勤勞奉仕の第一日

國策線に沿ふ聖なる汗の玉によつて酷熱を克服せんとする市內中等學校の夏期鍛錬期と改稱する働かう夏休みの第一日けふ十一日、新京商業、新京中學兩健兒は建國廟の勤勞奉仕に錦ヶ丘、敷島兩高女奉仕にもそれぞれ行事豫定に隨つて炎天下玉なす汗に銃後少年、少女の潑剌たる意氣を示して活動した【寫眞は敷島高女生の新京神社に於ける勤勞奉仕】

砂糖入りの 紅茶は久振り

厚遇に捕虜ソ聯兵大喜び

【〇〇にて十日發國通】〇〇にて我が軍に保護されてゐる外蒙ソ軍の投降兵及び捕虜はニコライ他卅二名だが、この程取調べが一段落したので十一日〇〇に後送されることになつた

〇〇では「愈よ明日はお前達ともお別れだ、せめて小ざつぱりした身體で出發せよ」と云ふ譯で一同を集めて入浴散髮をさせたり、茶菓を與へたりしたが、この外人部隊は久方振りの入浴に戰塵を洗ひ蓬のやうに伸びた頭を散髮すると何れも立派な男前になり紅茶を一口飲んでは

「砂糖入りのお茶は何年振りで飲む」

「こんなに親切にされるとは思はなかつた」

とか我方の温いもてなしに何れも感激の面持で、有難うを連發してゐた

敢然と酷暑に挑戰することとなつた

首警暑中稽古

首都警察廳では十七日から十三日間二十九日まで、毎日午後二時から三時半の一時間半を割いて全廳員三百余名參加の下に武道暑中稽古を實施、

公務運賃割 引證の濫用

警察官に警告

王道警察の顯揚を目指して全滿警察官の綱紀肅正が呼ばれてゐる折柄、昨月中旬ごろ滿洲國警察官の中堅となるべき地位にある某警察官が惡意な他官廳官吏に公務運賃割引證を貸與し朝鮮鐵道局管內で不正使用中を京城鐵道事務所長に摘發された事件があり、調査の上懲戒處分に附せられたが、この種の行爲は滿洲國警察官の威信を失墜すること甚だしいので、治安部植田警務司長は十日附を以つて全滿警察官に對し公務運賃割引證の公私混合を嚴になさざる樣訓達した

團體往來（十一日）

▲傷病兵〇〇名 十一日午後三時二十五分發旅順へ
▲傷兵〇〇名 同午後十時四十五分發ハルビンより同午後十一時五時發遼陽へ
▲新京中央學校生徒百五十一名 同午前八時着大石頭より
▲朝鮮龍山鐵道野球チーム十八名 同午前八時着奉天より
▲王爺廟師道訓練所生徒二十四名 同午前十一時五十分着吉林より
▲輝南縣街村吏員視察團十六名 同午後十一時十五分着吉林より
▲奉天第一中學校生徒七十七名 同午前十一時四十二分着奉天より

今晩の主なる放送

▲七・三〇 唱歌指導「興亞勤勞奉公隊の歌」（新京）岩田達雄 ▲八・〇〇 管絃樂「白鳥の湖外數曲」（哈爾濱）▲八・三〇 ラヂオ時局讀本「支那事變の前途」（下）（東京）▲八・四〇 青年の時間「青年と海外發展」（東京）小磯國昭 ▲九・〇〇 通信文藝「空ゆかば」（大阪）山村耕外

滿映演員から舞踊家を養成
日本舞踊體育學校へ入學

従來滿人は音樂舞踊のリズムに對して鈍感だといふ折紙をつけられて來たが、その否しからぬ定説を打破るに足る嬉しいニュース一つ……目下滿映では演員訓練のため新京西廣場滿鐵社員クラブにおいて三日から九日までの一週間、日本洋舞界の元老石井漠氏を招聘して舞踊講習會を開催したが、かねがね石井氏の舞台に接してその指導を希望してゐた滿映の全演員はこの講習會に異常な熱心さを示し、毎日午前十時から正午までの二時間を汗だくで稽古に專心すでに基本舞踊は全員が習得してしまつた。この演員達の意外な熱意と進境を見た石井氏は、一週間の講習會に引つゞき演員のうちから將來の舞踊指導者を養成することを思ひ立ち、このほど滿映本社を訪れて、向ふ一年間滿映演員をお弟子さんとして借受けたい旨を申入れた。滿映製作部では早速この申出を容れて演員の素質向上に資することになり、近く人選を決定、石井氏の東京自由ヶ丘日本舞踊體育學校生徒として正式に入學手續をとることゝなつた。目下のところ人選は三名になる模様で、これにより一年後には滿人の中から本格的舞踊家の誕生が行はれるわけであるが前記日本舞踊體育學校は石井氏が校主となり今春四月、日本における最も完全な舞踊學校として開校されたもので、校長は小原國芳氏、嘗て崔承喜、石井みどり等の舞踊家を養成した漠氏の手腕に對して滿映はじめ關係各方面ではその成果に多大の期待をかけてゐる。右につき石井氏語る

滿洲の人はリズムの感覺に缺けてゐるどいふ風に聞かされてゐたが實際に指導してみるとさうした噂は全然當つてゐません、尤も今度の講習會は例外かも知れませんが皆立派なものです、それに非常に熱心だから必ずものになると思ふのです映畫でも芝居でも演技の基礎として肉體的なリズムを身につけるといふことが言はれてゐる際ですし今度滿映の演員さんを一年間お預りして、その効果を實證したいと思つてゐます、その上で滿洲の人のリズムに對する立派な感覺の證明も同時にやれるといふことになれば大變愉快なことです

滿映スター水着姿！

右から葉若、陳利華、張敏、鄭曉君、張敏、李娟、王麗君、趙書琴

各館評判記

◇……岸本チエーン、銀キネ、長春座けふから一齊寫眞替り、銀キネの大都封切陣以外は全部再映プロである。

◇…先づ新キネは次週「鞍馬天狗江戸日記」を前に「角兵衛獅子」「龍虎搏の巻」を合せた「天狗大會」をトリに江川宇禮雄、黒田記代、井染四郎主演「東京要塞」を添へた番組、天狗の方はお馴染み寛壽郎主演の他に月形龍之介、澤村國太郎、河部五郎、原健作等藝達者な助演陣を配して描く幕末大活劇、マキノ正博、松田定次監督双方とも似たりよつたりの拙速の荒仕事、俗受けだけは狙つて外れないもの。

◇…次ぎが豐劇の「エノケンの風來坊」と「按摩と女」の二本立で「風來坊」はエノケン物としては餘りよく出來てゐない方のもの、大谷俊夫の監督作品、これより淸水宏の按摩を描いた「按摩と女」の異色が樂しまれる、高峰三枝子、德大寺伸、佐分利信共演

◇…朝日座は「怪談映畫大會」で逸早く夏の景物持出し、東寶今非時代の「江戸川亂山」日活「佐賀怪猫傳」新興「滿次双紙」の三本で三社競映といふところが興味である。

◇…長春座は川崎弘子、佐分利信、上原謙、三宅邦子の「人妻椿大會」で大船の金的の一つ、左様メイ畫の生命長し、年期を入れて稼ぐべし、添物は坂東好太郎、葉山純之輔、伏見直江共演「曉の旗風」である。

◇…銀キネの大都プロには松山宗三郎こと小崎政房の監督する「看板裏」があり「緞帳」に次いで一部批評の對象となつてゐる作品である、琴系路、水原洋一が主演してゐる、後の二本は杉山昌三九、松山宗三郎、東龍子の「天下の御意見番」と、これは極東のもので市川壽三郎主演の「怪幻魔」で、これは例によつて例の如きもの。

仙人掌

扇芳會館にまた奉天組一名、スターにゐた花田百合子孃、長らくの奉天生活にさよならして國都へ憧れの第一歩を印した、あの時分から見ると大分肥えた様だが生活に心配が無くなつたのかな▼もう一人來月末頃來る人がゐるからまだ少し早い様だが前以て紹介して置く東京は國華のナンバーワンとして有名であつた福田愛子孃彼女と扇芳開館以來の同期生といふ國華時代の近藤梅チヤン、奉天明星に三年程ゐてその前に國華にゐた木村君子孃なんて顔觸れだから、以てこの福田孃相當の古狸であることがわかる▼誠にコワイ存在ばかり集つて來るといふ所コワイと言へば木村君の姉さんの吉澤芳子クン、何を食つたか知らんが、盲腸炎になつて目下入院中とか▼もう一人コワイ方の稻垣ハナちやん相棒のヴエラちやんが哈爾濱へ行つてからは麻雀の方もお留守になつたと見えてRCRへ現はれない様になつた▼その代りに櫻ン坊こと矢村フサエ孃を引具してユリアあたりを本據にあのへんを歩き廻つてゐるが、あまり食ひ廻ると後を追つて盲腸炎になりますぞ聞けば天平そばのツケも彼女が最高額とか……

雜音

悦ちやんの孫娘を中にロツパのお爺さんと娘夫婦の織りなす泣き笑ひの一幕、東寶「ロッパの子守唄」は詰らない作品▼この頃の齋藤寅次郎は好んで新派劇風なものを取り上げてゐるやうであるが、どう衣裳を替へてみたところで陳腐さは蔽切れず、愈よ低調に落込んでゆくばかりである▼水のかゝつたズボンが忽ち縮むなどの皮肉が僅かに見出されるだけで、止まるところを知らなかつた大船時代の奇智は今はない▼ロッパもこれに逆らふ渡邊篤も毎度同じ型に嵌つてゐて新味なく、悦ちやんの扱ひ方に嫌味がないのだけがせめてもの取り柄である

新京日日新聞
朝刊
【本紙朝夕刊十二頁】
本紙定價 一部五錢 一ケ月壹圓 郵稅 一ケ月五錢
廣告料金 普通 一行 壹圓五拾錢 特別 一行 貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局專用 營業局專用
發行人 十河勇忠
編輯人 松本健
印刷人 水越內之介
〔大正九年十二月十四日 第三種郵便物認可〕

燦たる凱歌新戰場に高し

越境外蒙ソ軍を國境線外に擊攘す

遂に徹底的打擊與ふ

關東軍司令部十一日午後五時三十分發表＝軍はハルハ河右岸に越境跳梁しありし外蒙ソ軍に對し七月二日以來の攻擊により徹底的打擊を與へ本十一日これを國境線外に擊攘せり

大勢既に決せり

（報道班長談話）

ハルハ河右岸に越境跳梁せる外蒙ソ軍を國境外に擊攘せる關東軍司令部の發表に引續き軍報道班長は左の如き談話を發表した

□　□

軍は曩に發表した如く日滿共同防衛の本義に基づき滿洲國軍と協力し七月二日斷乎攻擊を開始したが、爾後戰況

有利に

進展し本十一日遂にバルシヤガル及びノロ高地一帶の地區に蠢動してをつた外蒙ソ軍を擊攘し目下殘敵を掃蕩中である、この間日滿軍は炎帝の下廣漠不毛據るに地物なく、特に給水至難なる戰場に於て旬日に亘りよく困苦缺乏に耐へ、堅忍持久戰捷の一途に邁進したのである、外蒙ソ軍はもとより精銳なる我が日滿軍の敵ではない、攻擊開始以後に於ける空地兩部隊の赫々たる戰果に關しては其の都度これを發表したのであるが第一次ノモンハン事件以後本十一日までの空中戰鬪に於いて我れのため擊墜せられたる敵機は確實なるもの五百二十九機、不確實なるものを加算せばその數約五百六十機に及び、敵の機械化四個旅團に潰滅的打擊を與へ敵戰車、裝甲自動車約三百を破壞炎上せしめてゐる、また敵の戰場遺棄死體少くも一千五百、捕虜は大隊長以下數十名であつて鹵獲品中目下判明せるもの戰車裝甲自動車約二十輛、榴彈砲三門外十數門に達してゐる、軍は今やハルハ河右岸滿領內に不法越境せる敵を擊攘したけれども敵飛行機はなほ我が戰線內部上空にしばしば

飛來し

ハルハ河對岸の砲兵また射擊を反復してをるので兩軍間には今後ともしばらくの間小衝突を繰りかへすものと考へる、しかしながら大勢は既に決してをるのであつて此の方面の國境は漸次平穩に歸することゝ思ふ

擊墜のソ聯S・B機の機關

張總理、現地部隊長に祝電

今次ノモンハン事件における皇軍の武勳戰勝に對し十日張國務總理大臣は關東軍を經て現地部隊長宛左の如き祝電を發した

聖戰二周年を迎へ忠勇義烈なる皇軍將兵の御奮鬪により古今未曾有の赫々たる戰勝を收め、東亞新秩序建設の偉業亦着々として進捗するの秋、今次ノモンハン附近における壓倒的大勝、洵に慶賀の至りに不堪、日滿共同防衛の本義に基きあらゆる困苦缺乏に耐へ、執拗暴戾なるソ聯の野望を粉碎すべく寧日之なき皇軍將士の御勞苦に對し此處にわが國官民を代表して滿腔の敬意深甚なる謝意を表すると共に切に各位の御健鬪と御武運の長久とを祈る

戰車、裝甲自動車 三百五十鹵獲

我軍の偉大な戰果

【ハルハ河畔にて十一日發國通】越境外蒙兵に對し斷乎膺懲の火蓋を切つたわが精銳〇〇部隊は七月二日の行動開始以來將軍廟西南方及びノロ高地を中心とするハルハ河右岸南方四十キロに東西三十キロに亘る廣大なる蒙古草原に蟠居した殘敵に對し果敢な攻擊を加へ敵に潰滅的打擊を與へつゝ逐次これをハルハ河畔に壓迫、十日早曉の總攻擊によつて遂に四千に上つた外蒙軍の掃蕩も完了するに至つたがこの間わが攻擊により敵は潰滅的打擊を受けその損害は極めて甚大な數字に上つてゐる十日迄に概ね判明せるわが軍の戰果は

破壞ならびに鹵獲せる戰車および裝甲自動車三百五十臺、重砲五門、對戰車砲九門、砲彈、機關銃彈、小銃彈等多數

で、わが偉大なる戰果を物語るものである

外蒙の猛省を希む

＝星野總務長官聲明＝

滿洲國政府は自衞權を發動し滿洲國領土內深く侵入して不法暴戾行爲を敢へてする外蒙ソ軍を擊滅するに決し共同防衞の責を負ふ日滿兩軍は既に國境附近において外蒙ソ軍に徹底的打擊を與へ偉大なる戰果をあげるに至つたが、星野總務長官は十一日今次事件の根本原因が全く外蒙ソ聯人の指導による不法越境に起因するものであつてこの點外蒙當局の猛省を促す旨の左の聲明を發した

△總務長官聲明

過般來外蒙ソ軍の我領土侵犯に付政府は五月十五日、同廿九日及び六月十八日、同十九日の四回に亘り外蒙政府に對し嚴重

抗議

する所があつたが然るに外蒙政府は今日に至るも尚我抗議に應ふる所なきのみならず六月九日には不遜にも一方的抗議を提出し來り毫も反省する所がなかつた、ノモンハン附近の國境がハルハ河であることはこれを史實に照らし又過去に於ける統治の事實に鑑み固より疑ふ餘地を存しない、されば我國は五月上旬以來敵の不法越境に對しては自衞權の發動として對處し且つ日滿共同防衞の盟約に基く兩軍の緊密なる協力に依り之を國境外に擊退し以て空中及地上の領有を確保した、殊に六月廿七日敵航空部隊に對する潰滅的打擊は盟邦陸軍の威武を內外に宣揚し我が國境を愈々安固ならしめた、然るに敵地上部隊は其後依然としてハルハ河右岸に於て築城に依る據點を構成し其兵力は日を追うて增加し其一部裝甲自動車部隊は深く滿領內に

侵入

し目に餘る不法行爲を敢てするに至つたので玆に自衞權の發動となり日滿兩軍は越境せる外蒙ソ軍への擊滅を企圖し今次の偉大なる戰果を獲得するに至つたのである、玆に本戰鬪に參加せる日滿兩軍の勇武に對し衷心感謝と信頼とを捧げ且つ其戰死傷せる勇士に對し感謝の衷情を捧ぐるものである、我滿洲國は道義世界の創建を以て國是となすものであつて妄りに隣邦と事を構へんとするものではない、即ち內民族協和し外友好關係を保持すること固より希望する所であり殊に外蒙は民族的地理的に特殊の關係が存するのであるから今次事件に於ても速に國境の靜ヒツを見ん事を希ふものであり此種折衝に關する外蒙側の提議に對しては喜んで之に應ずるの用意を有するものである、而して今日迄の紛爭は一に在蒙ソ聯人の指導に依る不法越境に

基因

するものであつて我が國境線たるハルハ河を越えざる以上は我より進んで彼を攻擊することは固より有り得ない、此點に關し外蒙當局の猛省を促し以て速に國境の平和を恢復せんことを希望するものである

認識せし外人記者團 皇軍の威力信賴

＝中島少佐視察談＝

關東軍報道班中島少佐はノモンハン事件發生以來英、米、獨、佛の各新聞通信社の外人特派員十名とゝもに砲煙彈雨のホロンバイルの草原を馳驅し、具さにノモンハンに於ける戰鬪狀況を視察中であつたが十日夜歸京、左の如き興味ある談話を洩らした

□

最初外人記者は今回の國境紛爭において日本軍のために擊墜されたソ聯機の數があまりにも多いことに疑ひを持ちこれが

眞相

を確かめるとゝもに日本軍も相當苦戰をしてゐるのではないか、或は海拉爾附近の人心に可成りの動搖が見られるのではないかとの疑問を持つて出掛けた模樣であつたが、先づ海拉爾に着いて見ると驛の狀況は何等平常と異らず市街を始め旅館やカフエーに至るまで人心の動搖はおろか戰鬪の片鱗すら窺ふことが出來ず、聊か拍子拔けの態であつたカンジユル廟、將軍廟附近に至りいよいよ戰場に近づくにつれ遙かに彼我の砲聲を聽くのみで坦々として續く涯り果てしない砂草原を眼のあたりに見て初めて擊墜ソ聯機の實數を一々數へることの不可能を知つたのだが、未だ信がおけぬのか擊墜數の根據を頻りに反問して來たので日本軍の旺盛なる攻擊精神とソ聯軍のそれとは格段の相違がある點と國體訓練の完璧による團結力の鞏固なることや、特に搭乘日本兵の武士道精神による眞實の報告に基づいて擊墜機數を集計するのだと說明したのだが信用しない、それでは英米佛の空軍は世界大戰當時敵機の擊墜機數をどうして計算したかと質すとパイロットが擊墜した機數を

集計

して出したのだと答へる、日本軍だつて同じぢやないか、君達は日本軍が嘘の報告をすると思つてゐるか、そうなると世界大戰でリヒトホーフエンが八十機擊墜した戰史に殘されゐるがそうするとあの記錄も嘘たらうと應酬してやつたら、ヨーロッパのには嘘はないと云ふ、かうした會話をしてゐるとき獨逸からハインケル機を日本に空輸した加藤中佐がひよつこり現れてこれから敵機を擊墜に行くのだと云つて精銳機を率ゐて第一線に出動して行つた、間もなく三十數機擊墜して堂々と歸つて來て嚴肅な擊墜機數と戰鬪報告が行はれた、わが荒鷲のこの嚴肅さをぢつと見てゐた外人連はこの時はじめて「あゝそうか」と疑ひの眼を以て見てゐたわが軍の擊墜機數を正確なるものであると信じたのである、早く戰線に行きたいと言ふのが外人記者の念願だつたからトラックをしたてゝバルシヤガルの戰線に出動させた今頃は砲彈を浴びて活躍してゐることだらう、海拉爾では外人記者團のみでソ聯の捕虜連と會見し思ふ存分語り合ひ、外蒙の事情やソ聯兵の指揮狀況を聞いた樣だが

會見

が濟んで慰問金を集め捕虜達に與へてやつてゐた、この會見で記者團はソ聯軍の脆弱性を知り玆に全く認識を新たにし眞に皇軍の威力を信頼し切つた樣子であつた

暗に紛れ敵機飛來

我防備に恐れ忽ち逃走

【〇〇基地十一日發國通】滿領爆擊の機を窺つてゐたソ聯重爆擊機は、十一日午前二時頃折柄の暗夜を利し〇〇基地上空を通過北進したが、わが嚴重な防空陣に恐れをなしてか投彈も爲し得ず海拉爾附近より機首を回らし逃飛した、右ソ聯機はその轟音によつてT・B超重爆擊機と判斷されてゐる、なほ同時刻頃戰場上空に現れたソ聯機はノムトソーリン、將軍廟附近を猛爆したがわが方には損害は無い

ソ軍細菌性爆彈を使用

【〇〇基地十一日發國通】暴戾外蒙ソ聯機の爆擊により不幸戰傷を負うた勇士は〇〇および〇〇に收容され銃後の篤い手當を受けてゐるが、わが醫務當局では爆擊による戰傷患者が大概化膿症となつて症狀を惡化せしめる傾向にあるので敵爆彈の性能と破片を丹念に檢べた結果ソ聯空軍は非人道にも細菌性の爆彈を使用してゐることが確認された、國際法を無視したこの非人道的行爲はわが前線勇士の憤激を買ふと共に目下戰線を視察中のアヴアス、D・N・B、ロイター、A・P等の外人記者連に「卑怯なりソ聯」の感を深からしめてゐる

十日の擊墜機數 更に五機

【〇〇基地十一日發國通】十日ハルハ河上空で行はれた空中戰でわが方の戰果は擊墜機數五十九、やゝ不確實なもの六機と發表されたが、その後の調査の結果機關の故障のため滿領內に不時着した本村大尉、花田准尉兩機が都合五機を擊墜してゐる事が判明した

寺崎中尉戰死

【〇〇基地十一日發國通】ノロ高地の潰滅戰に協力した滿洲國軍の寺崎二郎中尉（新潟縣糸魚川町出身）は六日午後一時半敵戰車に爆彈を抱いて突擊壯烈なる戰死を遂げた

全力を擧げて汪氏と協力せん

王、梁兩氏意思表示

【青島十一日發國通】臨時政府王克敏委員長、維新政府梁鴻志院長兩首腦は十一日午前九時よりグランドホテルにおいて新聞通信社記者團と會見兩氏とも汪精衞の聲明に對して滿腔の贊意を表し、次の如く全力を擧げて協力を惜しまない旨の重大意思を表明した

△梁鴻志院長談＝維新政府樹立の際における施政の根本原則は反蔣反共親日であるが爾來一年有半われわれはこの三原則の實現に努力して來た、若し汪精衞が中國の復興のため起つたならば尠くとも臨時維新兩政府間において今日までこの三原則を目標に進んで來たことを諒解して貰はねばならぬと思つてゐた、兩政府管轄地域外においても汪精衞がこの三原則を基礎に努力して呉れるならばわれわれは完全に同意し協力しようと考へてゐた、然るに今次の汪精衞のラヂオ放送及び中華日報社說は反共反蔣親日に重點を置いてをりわれわれの意見と完全に合致してゐることが充分理解出來たので愉快この上もない、われわれは最早全力を擧げて汪に協力する肚を決めた、なほ汪精衞ばかりでなく國民黨員であつてもこの三原則をひつさげて來るものに對してはわれわれは協力を惜しまざる用意を有してゐるものである

△王克敏委員長談＝汪精衞今次の意思表示は全く立派なものであり大いに協力することが國の爲、民の爲に成ることは言はずとも明らかである、われわれは從來黨派に關する觀念が薄く中國復興の爲め起つものとは如何なる人とも協力する心算であつたが今回汪氏が日支兩國の爲め斷然起つにおいては臨時政府としては如何なる協力をも惜しまない心算である、第五次聯合委員會を前にして汪氏が決意を表明したことは兩政府の前途にも大きな光明を投げ掛けるものであり吾々の喜びは殊に大きいものである

抗日政府糺彈から更に一步前進

重視される汪聲明

【北京十一日發國通】九日のラヂオ放送並に十日中華日報に掲げられた汪精衞の所論は中國共產黨に引きずられて無謀な抗日を續けてゐる重慶政府に對する糺彈から一步を進め時局收拾における日本との協調が當然必要なることを強調してゐる點から見て、その新たなる發足が臨時維新兩政府の親日政權たると抗日重慶政權たるとを問はざる全國的な性格を備へてゐるものとして重要視されてゐる、即ち

一、汪精衞がその新發足を近衞聲明に準據して考へる以上事變發生以來二ケ年にしてはじめて聖戰の意義が原則的に取りあげられたわけであるから日本側としてはその聲明の精神は贊同すること疑ひなく

二、臨時維新蒙疆等の各親日政權もその防共親日の成立基礎を一步飛躍せしめ、より確固たる時局收拾の政策に轉換せしむる可能性ある點に於て原則的に新發足を支持するのは當然とされる

三、更に重慶政府內部にその嚴重な監視と彈壓を排して內燃しつゝある和平論がこれにより財政上、軍事上抗戰能力の急激な消失に拍車をかけることは充分豫想される

かくて汪精衞今回の聲明は事變第三年當初における歷史的潮流の先頭に起つたものと見られこれを基礎として開始さるべき行動的實踐は、汪個人の行動の域を脫し事變本義の線に沿うて極めて自然に發現するものと觀測される

維新政府駐滿代表部員入京

維新政府駐滿通商代表に決定せる維新政府印鑄局參事林耕宇氏は去る二日南京を出發、途中上海、青島に立寄り二十日入京の豫定であるが、林蘊孟慶綱、陳作仁の三代表部員は諸準備の爲一足先きに十一日午後五時二十分あじあで入京、關係者の出迎へを受け直ちに宿舍越香春に入つた

人事往來

▲角野福三氏（大阪朝日社員）十一日來京大都ホテル ▲大塚新吉氏（同）同 ▲安田義信氏外十八名 朝鮮鐵道局野球チーム ▲水知忠清氏（日滿貿易會社）國都ホテル ▲富永義一氏（同）同 ▲若林芳雄氏（大倉商事）同

偶語

我が滿領深く不法越境し小癪にも挑戰し來れる外蒙ソ軍に對し軍は遂に堪忍袋の緒を切り▼七月二日膺懲の聖劍を振つて以來僅か旬餘にして頑敵地上部隊を國境線外に擊攘した▼第一次ノモンハン事件以後十一日までの綜合戰果は、擊墜敵機約五百六十、戰車、裝甲自動車約三百を炎上▼敵の遺棄死體最少限に見て一千五百、捕虜大隊長を始め數十名、鹵獲兵器に至つては其の數算なし▲時宛かも炎帝の候、廣漠不毛據るに地物なく給水至難の大平原に於て然も世界に覇を唱へるソ軍に對し赫々たるこの戰果は一に▼我が皇軍將兵の滅私奉公の至誠以外何物でもない▼われ〳〵銃後の國民は一線將兵の勞苦に滿腔の感激を捧げると共に各の務めに一層精勵せざるべからずの念が油然と起るのである

歷史的潮流に立つ 新發足の具體內容

汪聲明を各方面重視

【北京十日發國通】九日ラヂオによつて放送並に十日中華日報に掲げられた汪精衛の聲明の所論は和平における日本に對する危惧を去るべき旨を強調した點が特に注目され、從來重慶がコミンテルン及び中國共產黨に引づられて沒理性的な抗戰を續けてゐることに對する糺彈から一步進み、時局收拾における日本との協調が當然必要なことを強調しつゝある點から見て汪が企圖しつゝある新たなる發足が臨時、維新兩政府等の親日政權なると抗日重慶政權なるとを問はざる全國的性格を備へてゐることを示唆してゐるものとして重要視されてゐる、即ち

一、日本としてこの所論を見れば汪がその新發足を近衛聲明に準據して行ふ以上、事變發聲以來二ケ年にして始めてその聖戰的戰爭性格が全支的規模において取上げられた譯だから原則としてこれに贊同すること疑ひなく

二、臨時、維新、蒙疆等の各親日政權はその防共親日の成立基礎が、現在の聯合委員會制度が一步飛躍して、より統一的な時局收拾方策に轉換せしめられる可能性ある點においてこれ又原則的に新發足を支持するのは當然である

三、更に重慶政府內部においてはその嚴重なる監視と彈壓を排して內燃しつゝある和平論は財政軍事上よりする抗戰能力の急激なる喪失と言ふ客觀的基礎の成熟により一段と熾烈化することは充分豫想される

かくて汪今回の公開聲明は事變第三年初頭における歷史的必然の大潮流の先頭に立つたものと見られ、これを基礎として開始さるべき行動的實踐は既に汪個人の行動の域を脫し事變本義の線に沿つて極めて自然に發展するものと觀測される、斯る歷史的潮流の上に立つ新發足の具體的內容は單に聲明發表のみの事實しか存在しない現在輕々に斷定し得ざるは勿論であるがこれが日本と提攜すべき條件の下に行はれる歪曲なき三民主義精神によつて貫ぬかるべきは聲明の內容に徵するも當然豫想され、更に急速なる成立は期し得られずとするもその目標統一的政治勢力の樹立にあることは疑ひを容れぬものとされてゐる

社說　汪精衛の蹶起

暫らく沈默してゐた觀があつた汪精衛は、その沈默を破り毅然として表面に躍り出して來た。上海に於けるその機關紙中華日報の復刊がさうであり、またラヂオによつて全支民衆に呼び掛けたのがさうである。中華日報復刊第一號には「日支關係に關する余の根本觀念及び前進目標」と題する長文の論文を發表した。それは要するに日支提攜が日支兩國民の民族的必然的使命であることを闡明し、孫文の革命精神を沒却し共產黨の術策に陷り自國民衆を塗炭の苦しみに陷れつゝも何ら反省する所なく徒らに抗戰を繰返してゐる蔣介石一派の逸脫を假借なく排擊したものであつて支那民衆を思ふ彼の心情をあますところなく披瀝したものであつた。しかも注意すべきことは彼が支那の現實を決して無視して居らず、空想的にその理想を描いてゐるのではないことである。彼は「對日仇敵感情は解くべくして强むべきにあらず」と言つてゐるまた「戰既に一年半、日本の國力と中國の民族意識は何れも既に充分に發揮された、日本が中國に對し侵略的野心が無いと證明し、手を差伸べ共同目的のもとに親密なる合作を要求する以上中國は何故二兄弟が大喧嘩の後お互の頭を抱へて泣き再び仲直りをするやうに手を差伸べてこれに應へないのか、かくあることは何といふ悲痛な然し喜ばしいことであらう」とも書いてゐる、その周到なる配慮、人間的な物の見方、考へ方を知るべきである。

汪精衛のこの積極的な運動の展開に對してわが中支軍はこれを全面的に支持する態度を明らかにした。すなはちその報道部長談に「吾々日本人としても汪氏がかくも判然その去就を明かにし日本と提攜して東亞和平の確立に身命を捧げんとする熱意を示した以上全面的にこれを支持しあらゆる障害を排除してその目的達成に協力すべきはもとより當然であつて論議の余地はない」と言つてゐるのである。

汪氏はまさに絕大なる味方を得たにもひとしいのである。その運動の前途はまことに多望なものがあると言はなければならぬ、われわれとしては一とたびこれを支持するといふ態度を決定した以上は、あくまでもこれを支持援助すべきであることを思ふ。これまで支那に關係した問題で、ともすると斯うした態度が貫徹されず、はじめに期した目的が達成されずに終つたやうなことがあつたのである。かかることは今後は絕對に避けねばならぬ。殊に長期戰とはいへ、その長期戰遂行の過程に於いて步一步事變が整理されて行く今日の場合である。新支那の强き內容ある秩序の建設のために。われらは堂々と前進しなければならぬ。

汪精衛聲明放送の反響

彼の主張を擁護 平和恢復を希望

維新政府孔宣傳局長感想發表

【南京十一日發國通】汪精衛の九日夜の放送演說に對し維新政府當局では梁院長不在のため政府當局としての意見の發表を差控へてゐるが、孔宣傳局長の資格をもつて次の如き感想談を發表した

□　□

汪精衛先生の日支問題に對する主張は茲數ヶ月來屢々新聞紙上に見受けられ

吾人は

早くもこれに敬服してゐるところだ、今回汪先生が又日支兩國各々の地位及びその共同の利害につき徹底的に說明を加へられ更に孫中山先生の說を引用して「中國革命の成功には必ず日本の諒解を得ることが必要で支那がよく發奮して自ら强國とする事は日本にとつて有利でこそあれ決して害ではない、日本は當然これに協力するであらう」と述べた、この說に準じて云へば若し人が云ふ如く「日本が支那を滅亡せんと欲するものだ」との說は自ら覆へるであらう元來日本と支那に分離すべからざる利害關係を持つてゐる故に若しこの關係を認識すれば兩國間には衝突はおろか戰爭等起り得ない筈である、惜むらくは蔣介石は東亞及び世界の大勢に暗く更に中山先生の偉業を忘れ徒らに自己の地位を保全せんがため共產黨の操縱に甘んじ盲目的抗戰を惹起するに至つた、その結果は「新生の中國が兄弟なる日本にさからふの結果は必ずや失敗を招くのみである」とは汪先生の云はれたるが如くであるそれ盲目抗戰を發動易々これが犧牲に供されたる人命、物產の數は無量にして過去二ヶ年間における慘酷なる教訓をもつてすれば蔣氏は宜しく覺悟を定め以て和平の恢復を圖るべきである、一誤は再誤を招くものであり、和すべき時に敢へて和さず、徒らに所謂長期抵抗を提唱することは中國を共產黨の手中に送るも同斷である、汪先生は「現在二條の道が殘されてゐる」といはれてゐる即ち「その一は長期抗戰であり、その一は中日和平の恢復である」が、前者は

亡國の

道であり、後者は興國の道である」と、この言は眞に正確といふほかなく、汪先生こそは中山先生の信徒であり國民黨の元老であり國民革命に努力すること數十年に及び生死の間に活動を續けた人物である、しかも最近では國民政府最高指導の地位にあり中山主義及び支那ならびに日本に對する認識については何人よりも正確であつた、今回個人の生命の危險をも省みず日支和平恢復の偉大なる工作に從事されつゝある、吾人は今回の言論を聽取した後全國人士一丸となつて彼の主張を擁護し日支和平をして速かに恢復せんことを希望するのである、これこそ支那人民の幸ひたるのみならず實にわが東亞の幸ひである

大民會聲明

【南京十日發國通】汪精衛の九日夜のラヂオ放送に對し中支民衆によつて組織されてゐる大民會は十日左の如き聲明を發表その見解を明かにした

□　□

汪先生の聲明は重慶における地位を放棄し一切を顧みず和平回復を主張してゐる、斯る國のため、民のための奮鬪精神は感服の外はない、汪先生は昨夜突如放送を行ひ全國民衆に對し親しく彼の主張を說明するところがあつたこれは中國の和平促進に偉大なる效果を齎らすものである、今次汪先生の演說の要點は孫文先生の述べたところの中國革命の成功は日本の諒解を得ることが必要だと言ふ點を指摘した點である、この一事に對してもわれわれは一つの解釋を下すことが出來る、若しわれわれが中國自身の立場から言へば日本は東亞の强國であり中國の一切の行動は當然日本の協力に俟たねばならない然らざれば中國と日本は摩擦を發生、中國は全國の力を用ひ中日間に發生する紛糾に對處しても恐らく不可能で建設とか發展とかは問題とされないことを承認すべきである、これは中國自身の利害について言つたものであるが、和衷協力し紛糾を發生すべきでない、更に東亞協同體の立場に立つて言へば東亞元來が一つであつて中日兩國も必ず一致協力し全東亞の共存共榮を求むべきである、中國の一切の行動も日本の利害と絕對に衝突させてはならないし、日本の諒解を得ざればいけない、中日間の矛盾衝突によつて事變とか戰爭とかを起すことは東亞協同體を認識する人の理解し得ないところである、抗日を主張する人々は東亞協同體に對し何等の認識もなく中國自身の利害に對しても明瞭でないためにこの理論はでたらめであると認めざるを得なかつたのである、彼等自身の失敗は何等惜しむに足らないが、惹いては東亞の全局を誤らしめその罪たるや決して許さるべきものではない、現在汪先生の大聲叱咤により和平と抗戰といづれがよいかは充分明かとなつた、國民は既に如何なる道を辿るべきかを充分知つてゐる、一致協力を以て和平の實現に邁進すべきであるこれが國家を救ふのみならずわれ等自身をも救ふの途である

滿腔の賛意

汪聲明滿洲國支持

汪精衛氏が中華日報復刊第一號に復刊の辭としてその決意を披瀝した事に對し、滿洲國に於ては汪氏の書翰が昨秋の近衛聲明に於て明かにされた一、善隣友好、一、共同防共一、經濟提攜の三原則に贊成し現在支那の進むべき大道を明示せるに對し絕對の支持を示し朝野を擧げて滿腔の贊意を表してゐる、即ち

一、善隣友好は滿洲國が建國以來諸外國に對して示し來つたところであり、これ無くしては平和の招來は望み得ない、支那が日本との善隣提攜を忘れて徒らに長期抗戰を續けるに於ては單に支那自身を破滅の極に導くのみでなく、それは東洋全體の平和に對する大きな障碍である

一、防共は滿洲國建國以來の國是である、コミンテルンの魔手は東洋諸國に對して有形、無形の兩方面よりその毒牙を伸ばし來つて居りこれを阻止しこれを撲滅するに非ざれば到底東洋の平和は冀求し得ない、支那は最近共魔潛行より更に共魔跳梁の舞臺と化し、西北支那に侵入せる共產勢力は今や東洋和平の癌とならんとして居る、時恰も滿洲國に於ても不法なる蒙ソ兵軍は滿蒙國境を侵犯しコミンテルンの醜き毒牙をあらはにむき出し、我はこれに對し正義の干戈を進めて居る、東洋に於て共產ソ聯と境を接してゐる滿洲國と支那は力を變せて防共の活動を續けなければならぬ

一、東亞事態の進展と共に日滿支は益々經濟的相互依存の度を加へつゝある、世界各國相競うて封鎖的經濟を深刻化しつゝあるの時日滿支は一體となつて自給自足に向つて進まねばならぬ、各々の經濟的國力はこれ無 [illegible]

我將兵の武勇に 今更ら乍ら驚歎

外人記者團新認識

今次滿蒙西部國境事件は凡有る意味に於て世界の耳目を聳動しその成行に多大の關心が拂はれてゐる、從つて各國新聞通信社は事件勃發するや極東駐在の腕利き記者をすぐつて現地に特派し取材につとめてゐるが現在第一線に特派されてゐる外國新聞通信記者は英國ルータ記者ドルドン、佛蘭西タシ紙記者ジール、獨逸D・N・B・記者ミューラー、同ベーケンカンプ、AP記者ラツセル・ブラインズ佛蘭國ハバス記者ピートヴーケリッチ、獨逸新聞記者ヴエルネンクーロ獨ム市俄古デリーニュース記者A・Tスティール、U・P記者ジョンモーリス、獨逸トランスオーシヨン記者ネエヴチルジョンの十氏に上りいづれも事件發生と同時に現地に乘り込み活躍をつづけてゐるが同記者らは現地の實狀を目擊して今までの誤れる認識と豫想を根底から覆し我が皇軍將兵の勇戰に今更らながら驚嘆の眼をしてゐる

すなはち同記者らが現地までの途中列車の中で最も興味をもつて期待してゐたのは我が空中戰の實際の戰果を確めること海拉爾附近の緊張の實情であつたが先づハイラル驛に下車して見ると市街は平常と變らぬ平靜であり市民に些かの動搖の色もなく各の生業にいそしんでゐる姿であつた、これで今まで列車の中で描いてゐた『恐らくハイラルは市民一人なき軍都と化してゐるであらう』といふ豫想を完全に裏切られたハイラルで數日滯在準備を整へて採鹽所、甘珠爾廟の第一線へと向つたがその途中雲煙模糊として行けども行けども大海の如き大草原を走るトラックの上で戰場の實際を見るにつけ今まで抱いてゐた疑問すなはち『日本空軍は連日數十台の敵機を擊墜したと報じながら新聞紙上には敵機の殘骸の寫眞も出てゐない』といふことが初めて諒解出來たそれは廣漠たるこの大平原の中では如何に飛行機を探さうにもそれは太平洋の眞中で捧切れを探すやうなもので目當らないのが當然であるといふことが分つた、次は世界に誇るソ聯空軍がかくも呆氣なく、日軍に整理されたかといふ疑問については○○基地にて曾て獨逸よりハインケルを空 [illegible]

英租界內への 物品不賣斷行

天津市商會の十萬の商人結束

【天津十日發國通】東京における日英會談をよそに當地支那民衆の反英運動は日を逐ふて猛烈となりつゝありさきに天津市商會では對英租界物品不賣買を圖るため監察委員會を設けたが、市商會所屬十餘萬の商人達は監察委員の手を煩はすまでもなしとて去る七日の記念日を期し全員打つて一丸となり自發的英租界內への物品不賣買を實行した、これがため英租界居住の中小商社は商取引を完全に斷たれ華街方面への移轉を希望するもの續出、これ等に對しては會員が進んで土地家屋および店舖商品等の斡旋から移轉一切を世話する眞劍さで租界當局を益々焦慮せしめてゐる

愛機を護つて 決死、血の生還

天晴れ、花田准尉死闘

【○○にて十日發國通】敵機のためうけた重傷にもめげず友軍戰線內に着陸、機體を破壞より救つた花田守准尉の行動は支那事變において

操縱桿

を口にくはへ血達磨となつて歸還した故福山大尉にも比する荒鷲の精華として○○基地の感激を集めてゐる、木村大尉の率ゐる○○機は僚機島田○隊と連繫しつゝ十日正午過ぎわが機を狙つて殺到せるE十五型の編隊群を求めて「敵機何處」と索敵中、又もタムスク方面よりと思はるゝ敵戰鬪機六十數機を發見した本村隊は敢然これを邀擊すべく上昇、高度をとりつゝ敵の上空に位置するとみるや荒鷲の如く敵大編隊群に突込んだ、この時花田准尉は敵第一梯團の編隊長機の正面に向ひ反轉離脫せんとする一機に火を發せしめて擊墜、續いて亂戰となつたが沈着、的確な照準と近迫攻擊により忽ち三機を擊墜し、更に離脫せんとする敵を急追しつゝあるとき、後方上空より追尾し來つた敵編隊機のため集中銃火を浴び遂に一彈は准尉の右大腿部を貫通した、敵彈は鐵鋼彈らしく傷口はざくろの如く割れ、出血は忽ち操縱席を紅に染めたが剛毅な准尉は「ウヌ」と迫り來る敵の一機をまた擊墜した、敵機はなほも追跡し來つたゝめ准尉は弱り行く兩腕に精魂の限りを籠めて右左に或は橫轉、錐揉みなど戰鬪技術の粹を傾けて敵彈を避け機會あらばなほ敵機に一擊を加へんと鬪つたが、惜しやガソリンは殘り少なになつた、准尉はこれまでと一旦

自爆を

決意したが愛機は畏くも陛下より賜りたるもの何ぞわれ一念で處理すべきかと反省し、左手で傷口をしつかと押へつゝ右手で操縱桿を握りしめ最後の一擊とばかり敵の中に突込み敵機が驚いてあわてふためく中に血路を開き、友軍戰線目がけて重傷者とは見えぬ安定さで着陸した、かけつけた陸上部隊の兵が座席をみれば出血多量のため顏面蒼白となつた准尉が、右手に操縱桿を握つたまゝ人事不省に陷つてゐたのを發見應急手當を加へたものである、なほ准尉は目下○○病院に收容手當中だが元氣頗る旺盛で再起を期してゐる

戰傷勇士の輸送

民間航空機活躍

【○○基地十日發國通】皇軍の輝しい戰果の蔭には幾多後方勤務の涙ぐましい努力が日夜織込まれてゐるが、○○基地と後方○○との間に幾回となく往復して活躍してゐる我民間航空隊も亦、蔭の人として忠勇戰傷勇士達の感謝を集めてゐる存在の一つだ、民間航空隊は主として前線戰傷勇士の後方輸送に當り、無防備のまゝ敵戰鬪機の出沒する○○基地より○○の間に重傷患者を運んで勇士の尊い一命を確保してゐるが、現在輸送に當つてゐるのは事件勃發後輸送用に改造したスーパーおよびタイフン三機で、これに從事してゐる乘務員は全く超人的飛行時間の每日を送り、民間航空への赤誠を遺憾なく發揮してゐる、乘務員諸君の起床する時間は降つても照つても每朝四時だ、そして一日のはげしい輸送飛行が終つて就寢するのがいつも夜半の十二時である、四時間だけの睡眠時間しかとらず、しかもこの人達は一番神經の疲勞する空の活動を續けてゐるのだ、一輸送機で一回の飛行には僅か四人しか收容出來ないが、日暮れ時になるともうその日に何回輸送往復をやつたか忘れてしまふ程だと云ふ、この淚ぐましい活動によつて出血多量で一命を危まれた勇士がけふまでどれ程たくさん再起してゐるかと思ふと、これ等民間航空隊の尊さが銃後の感謝となつてわれ等の胸に溢れて來るのである

死して尚握る手綱

勇敢な一蒙古兵の行爲に わが荒武者連感激

【バルシャガル高地にて十日發國通】烏部隊の率ゆる滿洲國軍は今回のホロンバイル作戰に皇軍と協力、バルシャガル、ノロの兩高地に轉戰し目覺しい武勳を樹てゝゐるが、こゝに鬼をもひしぐ日本軍將士を泣かせた一蒙古中兵の話がある、五日勇猛滿洲國軍の一部は東バルシャガル高地の戰鬪に參加して各所に激戰を展開、皇軍の進擊を有利ならしめたがこの日の戰鬪が終つて血の樣な夕日が西バルシャガルの稜線に眞紅の影を落す頃、滿洲國軍前戰司令所後方の砂地に一蒙古中兵が首まで體を砂で埋めて馬の手綱を握つて居るのを通りかゝつた某日系軍官が發見した「おいどうしたか」と聲をかけると返辭がなく、よく見るとこの蒙古兵は靜かに眼をつぶつて死んでゐたのであるこの蒙古兵は色仁札布（二三）と云ひ國軍の包副官の從卒であつたがこの日彼我の戰鬪猛烈を極めて司令所の附近にも敵の野砲彈が雨霰と盛んに落下した、色仁札布中兵は身邊に激しい炸裂彈を受けつゝ一步も退かず包副官の馬を曳いて同所に待機してゐたが、飛び來つた一彈は遂に色仁札布中兵を斃し名譽の戰死を遂げたのであつたが死してもなほ責任感から上官の馬の手綱を確かりと握つてゐたのである、この蒙古中兵の忠勇を眼の邊りに見た日滿軍の勇士達は思ひ思ひに平原に咲く可憐な野花を手折つて淚の弔花を捧げたのであつた

櫻井中佐來滿

【東京國通】[illegible]

スヱーデン人を逮捕取調べ

【北京十日發】[illegible]

スピアー中佐を軍律會議に

【北京十日發】[illegible]

木材配給統制

連絡打合會開く

當局は曩に木材配給統制を實施したが新統制が需給關係者の間に不馴れの點多く配給に齟齬を來す惧れがあるので林野局は關係業者との協調を緊密にするため十一日より三日間に亘り軍人會館に打合會を開催、木材配給に關する具體的打合せ懇談會を遂げると共に將來の本制度實施に當り圓滑なる連絡運營に萬全を期することゝなつた

△出席者、井上林野局長、木村監理科長以下營林署統制主任官約五十名、滿洲林業會社側榛葉理事長以下約卅名、その他合計百卅名

△議案、第一日＝一、統制連絡事務處理方法一、統制調査要綱一、滿林連絡事項一配給概況說明

第二日＝一、配給見込打合一年間配給見込打合

第三日＝一、變更整理結果說明一、一般懇談

北野局長訓示

第一回木材配給統制事務擔當者事務打合會議における井上林野局長の訓示要旨左の如し

□

木材の國防上並産業開發上における重要性は今更縷々述ぶる必要もなく諸子におかれては充分に諒解し居らるゝことゝ思はれるが、最近の情勢に於ては之が圓滑なる配給を爲し得るや否やは即ち勝つか負けるか決定するが如き緊迫せるものであり之が配給事務を擔當する我々の責任の重大性を痛感し獻身の努力を盡さねばならぬ時である、わが滿洲國産業經濟界においてはその建國の當初より相當の計畫性を有して居たが、最近更に日滿兩國の國防態勢に即應し國防産業開發上の重要物資に付き統制を實施することに依り最も有效適切なる物の生産配給を圖り一層其の計畫性を強化し所謂「物の經濟」、「統制經濟」の時代となり戰時態勢に編成替をなすに至つたのである、木材も亦之が國防建設上に占める重要性に鑑み昨年七月國務院會議において統制根本方針決定せられ、その後十月決定せられたる康德六年度應急實施要領に從ひ今日迄之が具體的實行をなし來つた、過去約半歳の之が結果を省みるに諸君の甚しき努力にも拘らず統制そのものゝ急激なる變革性のため需要者供給側の事務にたづさはる者共に不慣れの點多く必しも最も圓滑に良好なる結果をとは申難いものがある、之等不圓滑の原因に付檢討するに前述の如く不慣といふ點と共に机上の計畫方と現地における實行者との連絡不備のため兩者の氣持の上並實行の運用上に於ても相當の喰違ひを生じ居る點を觀察して最も遺憾とする所であつてこれ等兩者の意思の疏通を圖る爲計畫者實行者の氣持の一致、計畫の確保に重點を置き本會を開催し統制目的達成に萬全を期せんとするものである、右趣旨を諒解せられ隔意なき意見の交換と眞面目なる檢討とに依り統制の趣旨を充分諒察せられ、現地に歸へられては統制事務のリーダーとなつて眞劍なる氣持を以て國家の大目的達成に盡されんことを望む

稅務監督署の省機構への統合

政府實施方策を研究

地方行政機構の整備に就ては一昨年の中央行政機構改革の際稅務監督署の省機構への統合が主要問題として取上げられたが今回內務局の總務廳への統合に伴ひ地方行政機構もこれに對應して整備すべき機運に立至つた、即ち、地方經濟行政の效果的運營を期すると云ふも最も有效適切なる方策とされかゝる見地より現在警察當局によつて行はれてゐる經濟警察に對する再檢討が要望されてゐる

日滿農政研究會

日滿農業の調整を目的に近く日滿農政研究會が新京に於て開催されることになつたが、滿農業部農務司では十一日午後二時より軍人會館に滿洲側の提出議案に對する下打合會を開催、農務司長以下畜産司林野局等農政各關係官出席

一、滿洲農業開發計畫
一、日本農業生産計畫との調整
一、日本側との提携協力その他提出關係議案に對する協議を遂げた

滿洲飛行機重役變更

滿洲飛行機では十日奉天本社に於て臨時總會を開き、荒蒔理事長辭任申出に依る重役選の件を附議し同理事長及原兩理事の辭任を承諾し、なほの新役員を決定した、なほ定款に依れば「理事の中より理事會長を選ぶ」ことになつてゐるのでこれを「理事會員の互選に依り選出する」ことに改めて理事長、副理事長も理事會長に就任し得ることにし、定款變更の件を十日の總會で可決して

理事長滿業總裁鮎川義介、岩崎、友田兩常務、奥村、常務理事大同燐寸常務小川淑一、理事滿業理事世良正一（監事は從來通り）

生産、資材配當計畫決定

【東京國通】商工省生産力擴充委員會は十日午後二時卅分より開催、委員長八田商相以下各委員、幹事出席、生産力擴充計畫のうち商工省所管に屬する鐵鋼、石炭、輕金屬、自動車、石油、工作機械、パルプ、曹達、硫安、金および非鐵金屬の十品目に就き協議の結果、會社別（工場、鑛山別）並びに物資別の生産計畫及び資材配當計畫を決定し直ちにこれを企畫院に送附することゝし同五時すぎ散會、しかして同計畫實施については資金、勞務、電力の三計畫とも密接な關聯があるので來週中に右三計畫についても生産力擴充委員會を開催、協議をなす方針だが、特に金及び石炭の勞務計畫に就いては特別の協議會を設け愼重審議をなすことになつた

紅石磖子（第二松花江）に滿洲第三の水電

基礎調査に着手す

滿洲國の水力電氣開發計畫は現在工事中の鴨綠江水豐洞、第二松花江大豐滿、鏡泊湖の三大水電のほかに第二期計畫として灤河の喜峰口廿萬キロ、渾江の桓仁廿萬キロ、第二松花江の紅石磖子四十二萬キロ等が最も有力な候補地としてあげられてゐる、この中最も大規模の紅石磖子は大豐滿より上流百七十粁にあり堰堤の建設地は紅石磖子の上流六粁堰堤の高さ六十六米、貯水面積二百平方粁、最大出力四十二萬キロといふ尨大なもので大豐滿と共に第二松花江開發電力の主要部分をなすものである、最近における産業開發の急速な進捗により將來の電力不足に備へこれが急速な建設が各方面から要望され水力電氣建設局では先般來本格的基礎調査に着手近く堰堤建設地のボーリングを開始することになつたが同地方の治安狀態不良のため五十餘名の武裝警備隊を派遣漸く機械据付その他の準備を完了したので十三日より作業を開始することになつた、このボーリングの結果により水豐洞、大豐滿に次ぐ全滿第三位の大水電計畫の具體化を見るものとして期待されてゐる

龍煙鐵鑛設立準備委員會

【張家口十日發國通】龍烟鐵鑛株式會社の資財評價委員會並に設立準備委員會は、十日午前十時より遠來莊に開催、委員たる蒙疆聯合委員會關口總務部顧問、野尻産業部顧問光尾交通部顧問、日比野財政部顧問、寺崎蒙銀副總裁、竹內察南政府最高顧問、加世谷北支開發張家口支社次長等出席、龍烟鐵鑛に對する興中公司の既存投資額を二百七十萬圓と決定（五月廿一日現在）に引續き設立準備總會を開催次の如く株式拂込並に創立總會日取りを決定正午散會した

一、北支開發の拂込金額百八十二萬五千圓（興中投資額の肩代り現物出資とし株式引受割當一千萬圓より控除したる現金出資七百卅萬圓四分の一拂込は來る廿五日拂込み完了のこと）
一、總立創會は廿六日に開催

對外貿易概算

【東京國通】大藏省發表＝七月上旬對外貿易概算左の通り（單位千圓）

輸出	一〇〇、六八七
輸入	八四、九八二
出超	一五、七〇五
一月以降出超累計	四一、〇七二

戰時下貿易に觀る日本經濟の堅實性

長期建設戰時下のわが對外貿易は、わが海外貿易が平時經濟界に對して持つ意義の外に新たに課せられた重要使命の遂行に基く意義が加重されてゐる、本年のわが對外貿易はこの四月から實施された本年度物動計畫と至大の關係を有し、その計畫遂行の樞要なる基礎をなすところに重要意義を有してゐる、東亞新秩序建設の使命遂行に必須の物資たる軍需資材、生産力擴充資材ならびに輸出品用原材料の供給の確保は滿洲、支那の如き日本と互助連環の立場にある所謂圓ブロックとの提携によつて達成されるならば甚だ好都合なのであるが、遺憾乍らこれら圓ブロック地域の供給に俟たねばならないものが多々あるのである、從つて地方に於て自給自足を究局の目的とする東亞經濟ブロックの確立に努力しつゝあるも、わが國としては差當つてこれら第三國よりの物資の供給を確保するためには輸入力の涵養乃至は增强が刻下の不可缺事であることは云ふまでもないところであるものは（一）輸出貿易（二）金現送（三）貿易外受取勘定（四）クレヂット設定等に依存してゐることは明かであるが金現送は自から制限があり、たとへ新産金並に國內貯藏金の買上げ額を合せても高々二億五六千萬圓見當であらう、又貿易外收支について見れば受取勘定の重要部分を占める海運收入が期待し得ない狀態に於ては多くを望み得ず、むしろ赤字とならざるをもつて一先づ滿足しなければならないであらう更に諸外國の我國に對するクレヂットの設定が目下の事情より云つて困難であるのは既に常識である、然るに一方において本年度物動計畫に基く第三國よりの必需物資の供給量は依然相當巨額に達することと豫想に難くないところである、しかもこれが金現送の範圍內で賄ひ得ないとするならば、どうしても輸出貿易の增進に俟つ他はないと云ふことになる、そこで政府は今回の物動計畫の中で、特に輸出品用原材料の輸入を他の生産力擴充物資並に軍需物資と同樣に、その重要性を認めて優先的に待遇することになつたが、これより先各種の輸出促進對策を講じ、輸出を積極的に進展せしめることによつて、輸入力の涵養に努めて來たその代表的なものが各種商品別リンク制であり、保稅倉庫特別施設、輸出資金前貸補償制度等々であつた、

□□

かゝる非常時的色彩を背景に持つた本年の我が對外貿易は然らば、果して如何なる實績を示し得たか、今これを本年上半期貿易について見よう六月末に終つた本年の上半期貿易は、我國貿易の特徵として上半期には原料品の輸入が殺到するため、原則として輸入が輸出を遙かに超過するのを常としてゐたのであるが、この從來の型を破つて、輸入は毎月制限され乍らもなほ相當多額に上つたにも拘らず、輸出が以外な程伸び、殊に六月下旬に於ては一億三千三百余萬圓となり、一旬輸出額としては本年の記錄的最高を示したゝめ、一擧に三千六百余萬圓の出超を現出し、今迄貿易尻は入超であるに至つたものが、これによつて逆に出超に轉換するに至つた、即ち本年上半期の輸出は十六億一千五百余萬圓、輸入十五億九千余萬圓であつて、差引き二千五百三十一萬五千圓の出超となつた、我が國の對外貿易が上半期に於て出超を示現したのは歐洲大戰當時以來始めての現象であつて、これはまことに戰時下に於ける本年貿易の特徵を端的に物語るものである、最近三ケ年間に於ける上半期貿易の實績は左の如くである（單位千圓△印入超）

	輸出	輸入	超過
昭和十四年上半期	一、六一五、三三六	一、五九〇、〇二一	二五、三一五
十二年上半期	一、三六七、八〇一	[illegible]	△[illegible]
十一年上半期	一、三〇一、[illegible]	[illegible]	△[illegible]

即ち本年上半期の輸出額は前年に比し三億二千七百七十二萬五千圓即ち二五パーセントの激增振りを示し、更に一昨年同期に比しても一千四百萬圓弱の增加となつてゐる、一方輸入に於ては、本年は昨年に比し一億六百九十九萬九千圓、即ち約パーセント方の增加乍ら、一昨年に比較すれば六億五千二百萬圓の激減となつてゐる、一昨年即ち昭和十二年上半期における輸入の激增は諸種の原因に基く思惑的買急ぎ行はれた結果であつて、異例的現象であるから比論の對照にはなり得ないが、本年の輸入が戰時上に於て制限を受け乍らも兎も角も前年同期に比し一億圓餘を增加してゐることは、一に輸出部門が政府の各種の促進對策並に民間業者の努力によつて愈々堅實さを加へて來たことを反映するものである

□□

本年上半期の輸出は前記の如く前年同期に比し二五パーセントもの伸暢を示してゐるが、これを圓ブロック、第三國向けとに分けて見るときには未だ遽に樂觀を許さないものがある、本年五月末迄の統計によればブロックよりの輸入は二億八千七百餘萬圓で前年に比し二千四百餘萬圓の增加となつてゐる、即ちブロックよりの物資の供給は增加を見てゐるが、しかし一方圓ブロックへの輸出は本年は五億六千萬圓と前年同期に比し一億四千五百餘萬圓を激增し、圓ブロックよりの輸入增を遙かに凌駕してゐる、即ち本年五月末迄の我が輸出增加額二億一千六百萬圓の過半が圓ブロックへ吸收されてしまつた譯である、一方對第三國貿易は輸出五億九千七百萬圓、輸入九億二千六百萬で差引き三億二千九百萬圓の入超であつて、前年五月末迄の實績に比較すれば、この入超尻は三千三百萬圓の增加となつてゐる、對第三國との貿易は五月末迄に既に三億圓の入超となつてゐるがこれに六月を加へた上半期の第三國貿易に於いては、この入超尻は更に增加するであらうことが豫想されてゐる

□□

本年上半期の我が對外貿易は以上の如く對第三國との關係に於いては多少逆轉の傾向が見られないではないが兎も角も輸出は前年同期に比し二五パーセントの激增を示し貿易尻に於ては型破りの出超を現出し、本年貿易の前途を頗る明朗ならしめてゐる、七月以降の下期に於ては各種輸出促進對策の效果が本格的に期待され、一方に於て生糸を始め各種纖維製品に對する海外市場の購買狀況もひどく惡化する材料に乏しいから上期に引續いて輸出貿易の基調は愈々堅實さを加へて來ることが豫想され、戰時下貿易の搖ぎない底力を遺憾なく示すであらう

爲替集中制實施控へ法幣早くも動搖

第三國も結局協力か

【天津十日發國通】北支輸出爲替聯銀集中制全面的維持實施期日たる十七日を目睫にひかへて、法幣は早くも動搖を示し、去る七日の天津爲替對英五ペンス十六分の七に比し八日は四ペンス四分の三と一六分の十一ペンスかたの暴落を示し、さらに中國、交通兩銀行並に銀行を利用する漏新による逃避が再び活潑となつてゐる、したがつて北支諸商品物價は法幣の暴落により通貨不安による換物人氣再現の曙光を見せ、綿糸布、人絹等を筆頭に先高見越の思惑買を招來しつゝあり、即ち上海爲替對天津爲替のデスパリテイに對し過渡的現象として人氣的に物價の訂正運動が惹起されてゐる、しかして法幣暴落過程への一時的現象として法幣基準物價と聯銀券基準物價と相對する別個の物價が暫定的に存在するものと見られてゐる、さらに北支物價の聯銀券基準物價への統一は、外銀側殊に英米系銀行が貿易通貨として從來通り法幣バーシスを支持するや否やにかゝつてゐるが、外銀側は從來の行がゝりから、本國政府より何らの指令に接せずとの理由にて依然聯銀に對し非協力の態度を表明し、これがため今後爲替が彼等の手から喪失するともやむを得ずとの見解を抱いてゐるが、いづれも一様に東京會談の成果に多大の期待と注意を拂つてゐる從つて今後は北支における爲替業務は外銀側の態度に反省のない限り正金銀行に集中される結果を齎すであらう、一方外商側は盟邦獨逸商社をはじめ一時英國商社も新事態に對する認識を改め聯銀に協力して來たが今後は好むと否とに拘らず北支における自己の生存權を保持するためには進んで協力せざるを得ないであらう

奉天滿俱勝つ 對滿洲國戰

6A—1

州外春季野球大會南北決勝戰京滿洲國對奉天滿俱一回戰は十日午後四時より國際球場に於て擧行、先づ選手入場に續いで昨年度優勝チーム滿洲和製鋼所より優勝旗、優勝杯の返還、田村大會委員長の挨拶、愛國行進曲合唱の後同四時四十五分猪子野球聯盟理事長の始球により岡崎（球）……須、山田、高村（壘）四氏審判、新京先攻で開始、結局六Ａ對一で第一回戰の凱歌は奉天滿俱にあがつた、閉戰六時四十五分

新	010000000
奉	00000015A

6A—1

東京高師劍道部迎へ新京軍對戰

大滿洲帝國武道會新京支部では來る十九日來征する東京高師劍道部員十五名を迎へて、これが對抗試合を廿日午後四時半より新京商業學校道場において擧行することになつたが右試合に出場する新京代表選士候補を左の如く決定した

△四段 廣澤施雄（協同セメント）西野善治（首警）古谷野正壽（經濟部）川田正武（電々）中村明（室町小學校）大神三千雄（中銀）岩田憲（憲兵教習隊）利岡和人（滿拓）

△三段 吉井忠（滿鐵）甲斐卓（經濟部）次木弘（中銀）井上清彥（産業部）角川靜雄（弘道館）米多吉平（首警）橋本周庸（滿炭）本間五郎（同）畑正雄（電業）小口厚（弘道館）久野誠（日滿商事）

なほ對抗試合に備へるため十三日午後四時半より新京商業道場において合同稽古を行ふ筈である

第一回一般對學生陸上競技大會

【東京國通】東京陸協關東學生陸聯主催第一回一般對學生陸上競技大會は九日午後一時卅分から芝公園競技場にて擧行、成績左の如し

△百十米高障碍 1木南孝道（學）一五秒六、2村上（一般）3平井（學）4金原（一般）
△千五百米 1田中秀雄（一般）四分七秒、2大澤（學）3鄕野（學）4勝赤（學）
△百米 1吉岡隆德（一般）一〇秒八、2大井（學）3向井（學）4佐々木（一般）
△四百米 1佐藤勝三（學）五二秒二、2中西（學）3黑澤（一般）4新倉（一般）
△棒高跳 1安納定男（學）三米八〇、2赤松（舊姓安達、一般）3淺川（一般）4佐久間（學）
△走高跳 1原田正夫（一般）七米二八、2井上（學）3根本（一般）4渡邊（一般）
△圓盤投 1藤田喜代治（學）四一米九七、2本儀（學）3寺村（學）4高野（一般）
△三千米競歩 1山本善一郎（一般）一四分二九秒二、2佐藤（一般）3宮下（一般）4井坂（學）
△二百米障碍 1吉岡隆德（一般）二五秒一、2田中（學）3岡村（學）4木南（學）
△走高跳 1原（學）一米八五、2鈴木（學）3長谷川（一般）4根本（一般）
△八百米 1田中秀雄（一般）二分〇一秒、照井（學）3中西（學）4岩村（學）
△槍投 1渡邊誼（學）五五米四〇、2小林（一般）3志村（學）4成澤（一般）
△五千米 1加藤藤夫（一般）一五分五六秒二、2鄕野（學）3秋場（一般）4大澤（學）
△砲丸投 1藤田喜代治（學）一二米八五、2吉田（一般）3本儀（學）4青木（一般）
△瑞典繼走 1學生軍（向井、金田、岡村、佐藤）二分三秒三、2一般軍（吉岡、佐々木、森田、新倉）二分四秒二

かくて學生軍は一般軍を87對70で破り東京市長杯を獲得した

加日籠球一回戰

【東京國通】全日本對カナダチーム籠球第一回戰は卅一對廿六でカナダ軍勝つ

カナダ		全日本
16	—	8
15	—	18

全英庭球選手權大會決勝戰

【ウインブルドン八日發國通】全英國庭球選手權大會最終日は八日引續き男女子ダブルス決勝ならびに混合ダブルス決勝戰を擧行したが、全選手權が米國選手の獨占するところとなつた、成績左の通り

△男子ダブルス決勝 ブック、リッグス（米） 6—3 3—6 6—3 9—7 ヘア、ワイルド（英）
△女子ダブルス決勝 フエビアン夫人、マーブル孃（米） 6—1 6—0 ジエコブス孃（米）、ヨーク孃（英）
△混合ダブルス決勝 リッグス、マーブル孃（米） 9—7 6—1 ワイルド、ブラウン孃（英）
△女子シングルス決勝 マーブル孃（米） 6—2 6—0 スタマース孃（英）

旅順醫學校生徒募集

關東州廳では本年八月旅順病院內に新設豫定の旅順醫學校に入學させる生徒を次の要領で募集することゝなつた

△本科 修業年限三ケ年 資格 日本人男子にして中學校卒業者、專驗合格者駐滿全權大使が特に認めたる者
△豫備科 修業年限一ケ年 資格 滿洲人男子にして旅順高等公學校中學部第四年修了者またはこれと同等以上の學力を有する者なほ豫備科に入學するものとす
△募集人員 本科二十名、豫備科二十名
△受驗手續 志願者は來る七月十五日までに到着する樣所定の願書を關東州廳學務課に提出すること
△入學試驗 七月廿一、二兩日旅順で

なほ本學校在學中は授業料は不要で月額本科十五圓、豫備科八圓を支給され、卒業後關東州及び滿洲國において現地開業醫たる資格を附與されるが、大體において官の指定する地域で四ケ年開業の義務を負ふものである

商況 十一日後場

各地株式市況

●大連株式（短期） 寄付 大引 [illegible]

●奉天株式（短期） 寄付 大引 [illegible]

家庭

六十八年後に卒業證書

【プリマス發】プリマス在住のノラ・ワイアント夫人は辛抱強く六十八年間待つて漸くこの程昔在學したハイ・スクルの卒業證書が授與されて子供のやうに喜んでゐる、この氣長な老婦人は既に一八七一年に學業を了り立派にハイ・スクルを卒業したのであるが或る手違ひで證書が渡されず而も校長が卒業式の二週間前に急逝してしまつたのでその後いくら學校當局に交渉しても一向埒があかず遂に半ば諦らめて今日に至つた、ところが最近その學校の五十年以前の卒業生ばかりの同窓會が出來たがノラ夫人は證書がないばかりに大先輩としてその會合に顔を出すことも出來ず獨り悲哀をかこつてゐた、これを傳へ聞いた一老同窓生が早速右の次第をその同窓會に報告したので種々調査するとノラ夫人が立派な卒業生であるのみならず一八七一年度卒業生として唯一人の尊い生存者と判り早速學校當局と再び折衝が行はれた結果改めて最近ノラ夫人に對する卒業證書授與式が行はれ、待望の證書を手にしたこの老婦人は涙を流さんばかりにして喜び勇んで歸つて行つた

子供に與へてよい夏の果物は何か
バナナ必ずしも危險ならず
林檎みかんが最適

ビタミンCを澤山含む果物類は、發育期の子供の間食に與へるには最もふさはしい榮養食品ですが、その一面に果物は腸を冷して下痢の原因となりやすいとか、或は疫痢の原因になるなどと恐れて、子供に果物を與へたがらぬ家庭があります、果物の中には勿論子供の年齢によつては危險なものもありますので主なものにつき御注意いたしませう

バナナ＝一般に疫痢の原因はバナナと、あまりに喧傳されすぎた傾向がありますが、之もむやみに恐れることはない、品物を吟味さへすれば差支へないのですが甘くて口當りのよいため一般に二本三本とつい食べすぎる傾向があります、之は芯へ傳はつて少しでも黒味のあるものはもう危險です、又むいて時間を經つと變質しますから、必ず新鮮な少しもいたんでないものを選んで下さい、但し、疫痢も危險年齢である六才未滿の子供は疫痢の病菌はいなくてもバナナは不消化ですから控えたほうが宜しい

水蜜＝これも變化が早くくさりやすいからこれも小さな子供には食べさせねがよい、六才以上の子供ならば新しいものはよろしい

苺＝青い部分の殘つてゐるや古くなつてゐるのは宜しくありません、變化の早いもので、ぢきに糸狀菌が生えます、鹽水へつけておいても鹽だけでは腐敗菌は妨げられても病原菌までは鹽では殺せません

梨＝林檎より不消化です廿世紀のやうなのは消化はよいが、粗いたちの梨はすつて與へます

葡萄＝甘味の强いのはよいが、酸味の勝つたのは控へたいものです

西瓜＝西瓜は不消化で纖維は長くのこるから幼兒にはいけません、黄色い西瓜の方がよい、但し、切つてからの取扱ひが大切で埃などのつかぬやう、よく洗つて切つたらすぐに食べるやうにしますまくわ瓜もやゝ不消化です、メロンならば幼兒にもそれほど惡いことはありません

生梅は＝いけないことは小學校の教科書にも書いてあるが、地方には未だ食べる子供が時折りあります、美味しくもないのですからこれだけは絶對にやめさせたい、又ぐみ、桑の實なども不潔ですからたべさせないやうにしませう、どんな小さい子供にも絶對に安心して與へられるのは、林檎、みかん、ネーブルのやうな皮の固いものをむいて與へることです、たゞし、これも新鮮なものであることは勿論です

どうすれば　早く寢付かれる
寢付きの惡い夏に
効果的な方法紹介

寢苦しい時、どうしたら睡りを催すことが出來るか一、二の効果的な方法を御紹介します

▲…まづ第一は冷水浴の方法で（イ）は頭から冷水をかぶり、その後、乾いたタオルで輕く摩擦をすればいゝのです

夕食後二、三時間に行ふのが効果的ですが但し虚弱者、動脈硬化症の方は遠慮すべきです（ロ）は局部冷水浴で、下脚、特に膝以下をバケツに一、二分乃至三分浸し、終つて乾いたタオルでよく拭きすぐ就寢します、最初一寸冷たい感じがしますが、まもなくポカ／＼としてねむりを促してきます

▲…第二は運動法で（イ）は就寢前に庭前に出で、兩足に力を入れて踏ん張り、兩手を開いて徐々に深く息を吸ひこみ、次いで吹き出す、この方法を三回乃至五六回試みます（ロ）は床の上に仰臥し、枕をした上、恰も直立不動の姿勢の如き位置をし、直立體操のやうに兩手兩足を左右に開いて大の字を描きます、十回もくりかへしますと呼吸もはづみ、心悸動もやゝ增加して非常に爽快です

▲…この他、靜座をするとか或一點を凝視するとか暗記した文章や詩をくりかへすことなども効果的です、これらの一つ或ひは二つ三つ併用して行へば必ず睡りを催しますから試みて御覽なさい

非常時食品　豆腐の榮養價調べ

豆腐は消化もよく滋養の多い食品として知られてゐますが、こゝに家庭經濟の立場から他の榮養食品とくらべてどの位經濟か比較してみませう

豆腐の目方は一丁約四百瓦が標準です、この中に含む蛋白質は二六・四瓦、脂肪十二瓦、灰分二・七瓦、カロリー二二四となります、同じ五錢で牛肉を買ふと、約十五瓦あります、その中の榮養は蛋白質三瓦、脂肪〇・四二瓦、カロリー十五、灰分〇・一八瓦。

鷄卵五錢は四二瓦あり、蛋白質は五・六瓦、脂肪四・六八瓦、カロリー六二、灰分〇・六八瓦です

鰯は五錢で十瓦求められますが、蛋白質一・八瓦、脂肪〇・三一瓦などゝ、到底比較になりません、非常時食品として、豆腐をおすゝめする所以です

腐敗し易い辨當
御飯の上手な炊き方とお菜の選び方に注意

◇……梅雨から本格的の夏へ食べ物がだん／＼腐敗し易くなります、毎日お持ちになるお辨當もいたみ易くなりますので、主婦方のお菜の苦勞がまた一つ殖えるわけ、次に腐敗し難いお菜と御飯の工夫を御紹介しませう

◇……先づ御飯は、胚芽米等は餘りよくとがぬ樣にすると榮養價も高いと云はれて居りますが、お辨當には是非よくといで糠を除く事が肝腎ですそして硬目に炊く事です、腐敗を防ぐ工夫の一つとして、二合の御飯に對し三個位の梅干を入れて炊き込む事も有効ですし、酢を入れて炊く事もよい、然し醋酸を入れるのが最も有効で、四合の米に對し二十倍に薄めた醋酸を二勺程加へればよろしいので番茶で炊く事も、お酢で炊いた御飯と略同じ程度に保ちます、お茶を普通飲む位の濃さに煮出して、それで御飯を炊けばよろしいのです、理想から云へば梅干を入れた握り飯を熱い中に燒きめしとしたものが一番永保ちします

◇……次にお菜ですが、必ずしきりをして入れる事です、お菜については選擇に注意すればよろしいのです、煮つけの魚等より、鹽ものは醤油づけ、味噌づけ等を選び野菜は葉菜物より**根菜類**を選ぶ事但し薯類は避けます、それを醤油だきにしたり、或は砂糖煮としたりします

例を擧げれば鮒、鰊の甘露煮、牛蒡、蓮根等を入れた煮豆、黒豆の硬煮、キンピラ牛蒡、筍の煮しめ、スルメ、こんにやく等の佃煮、鐵火味噌等がよく、容器の清潔等には申す迄もなく御注意なさることです

家庭榮養讀本　脚氣はなぜ日本人に多い
ビタミンBの攝取が大切

脚氣は日本の風土病といはれるほど邦人には非常に多い病氣です、この病氣の本體はビタミンBの缺乏によつて起るもので從つてこれをビタミンB缺乏症と稱し、これに關係をもつビタミンBⅠを抗脚氣性ビタミンともいふ

何故　日本に脚氣が多いのだらうか、これは誰も知つてゐるやうに、白米を常食とするところにその原因があります、米はその玄米の時代においては、何よりもビタミンBを澤山に含んでゐますが、精白が進むにつれてだん／＼とBの含有量は減少して來ます、それは主としてBが胚芽及び皮質部に含まれてゐる關係で、從つて糠の中にはBが非常に多く入つてゐるわけです、既にBの含有の殆んど皆無な白米を常食とする場合、他に脚氣を豫防するに足るだけのBを、他の食品によつて補はない限り脚氣を豫防するわけには參りません

白米　を常食としないずつと昔は、日本にも脚氣の發生は見られなかつたのですが、奈良朝時代になつて白米が用ひられるやうになるにしたがつて、脚氣が發生してゐます、しかしその頃白米を常食にしたのは上流階級だけで、從つて脚氣に惱まされたのもこの階級に限られてゐたのです。その後德川時代に入つて一般にも白米が用ひられるやうになると共に脚氣も大衆的になつて來たものです、さういつたやうな次第で、脚氣の豫防法としてはビタミンBを有するやうに搗精した米の常食が一番理想だといふことになる

それ　には現在胚芽米、七分搗米がもつとも推奬されてゐます、しかしこれは豫防法であつて、治療法ではありません。そこで脚氣に罹つたものに對しては、どんな食餌療法の適切かと云へば、以上のやうにBを多く含んでゐる米を常食にする一方他面ではBⅠの藥物療法が極めて必要です、これには今日注射藥、内服藥ともにいろ／＼の種類が出てゐるので、それらのものを醫師の指示に從つて注射、服用する事となります

同時　に浮腫が全身に來てゐるやうな場合には利尿劑や下劑の併用も結構である、更に心悸亢進して衰弱の兆のあるものに對しては强心劑も用ひられます、しかしそれらはすべて醫師の範圍に屬することです、かくすることによつて脚氣も極めて短時日にその恢復を圖ることが可能です

なほ　念のため脚氣の症狀としては一般に爪先の知覺が鈍麻し、それから次第に手足の上方に進行し膝蓋腱の反射を欠ひ、下脚に重みを感じ、歩行困難となり更に心悸亢進して心臟の衰弱を來すといふのがその症狀です、また浮腫を主とするものでは、最初に手足の先に浮腫を生じ、次第に上方に向ひつひに全身に及び食慾減退して衰弱を來し、また内臟の諸器はその機能に變調を來すといふことになります

盲啞の原因に就て

滿洲國赤十字社新京聾啞學校長　田代清雄

盲啞の原因を知る事は他の不具の原因も之に依り判るので、之等と關係のない人にしても多少の參考になる筈であり、特に己の健康體を顧る時に肉體的に惠まれたる幸福を父母に對して感謝の念を深くし、從つて己の子孫に對しても注意が深くなる筈である

そも／＼盲者は目其のものを失つて見えないのであつて誰が見ても一目で判斷がつくけれ共、啞者は一寸位見ては判斷がつかない。之は生れつきか、又は赤ん坊の時病氣の爲聾となり、言葉を知らずして成長するか、聲や口の缺陷はなく共唯聲が出るのみであつて、發音發語が言へないのではなく、知らないので言はないのである、それで見た所では普通人と寸分違つた所はないので、よく間違はれたり間違つたり、悲しい事やおかしな事、腹立しい事が多々あり、啞者の心理は盲者に對する世の同情に比べて薄いので其心中は洵に悲痛でよく考へると人として此世に生れ乍ら知識の窓の耳が閉されて居る爲に、智能は極めて幼稚なので普通人が想像の及ばない事が多いのである。折々所々會合で盲と啞とどちらが幸かと討論を聞かされるが、これは先天性と後天性があるから先づ先天的の場合か、後天的の場合かを定めてから考へたら直ちに同情の判斷がつく筈である。即ち生れた時にはどうもなかつたものが病氣の爲に盲或ひは啞になれば誰が考へても盲が不幸である、この位不自由な事はない。然しそれと反對に生れつきの者としたら此の考へも反對になる筈即ち世の一切のものを見た事のない盲人は見える人が思ふてくれる程の不自由な思ひはないのである、むしろそんなに同情して下さる見る事を知る普通人の心理が不思議な位である、目は見えないでも知識の窓は普通人より鋭い所の耳から普通人の思ひも寄らぬ事を聞き知り、目の屆かぬ所も知り、其心眼は實に想像の及ばぬ事が多いのである

それにひきかへ啞者は目に見る形より外には知るものもなく、後天的盲人同樣の不幸で誠に同情に堪へない次第である。況んや父母の嘆きは如何ばかり、呼べど聞えずホホヅリして可愛がつて下さる恩愛の言語が判らずに成長し、又我子の言葉を知らずして育てゆく父母の心になれば人知れず悲痛の涙にくれるのである

今やかゝる人達の爲に教育の方法が非常に進んで居るけれ共、一通りの教育をするにも長年月を要する事とて仲々容易な事ではない、それでむしろ此の不幸を未然に防ぐ事が何より大切な事と思ふ、これは宣傳のよろしきを得たら乾度甚大の效果がある事を信ずる次第である

一體一般には此原因が判らずに、その原因を作り後悔して居る人が又尠くないのである。願くば我滿洲全國にも之が普及の徹底を計り、國民一同に健康なる子孫が繁榮する樣に祈つて止まないのである

さて盲の最近の統計を見ると、日本は人口一萬人中五人で其の内三割が先天的となり七割は後天的で、しかも眼科醫術の進歩に伴ひ年々減少してゆく事は慶ぶべき事で、又十年前の一萬人中九人强に比べると、半數になつて居るのも文化の賜なる事が考へられる、又後天的の多くの病源はトラホームであるが、誰しも心がけ一つで治るのであるから絶へざる衞生思想の普及が肝要である

次は啞であるが、之は聾が原因になつて居るので學名聾啞と云ひ、又近來は教育の力によりものを言ふ樣になつたものは啞ではなく聾者と云ふて聾啞學校も聾學校と云ふて居る所が可なり多くなつた樣だが、これとは又反對に耳の聞える啞である、これはノドやシタ唇に缺陷があるので近代の醫術で治療が出來る、又强烈な吃音の爲啞同樣のものもあるが、これも矯正の方法で治るのであるが、此の聾啞の原因の聾の治療が最も困難視されて居る。此の聾はただ内耳のコマクが惡ひと云ふだけでなく、コマクは良くても聽覺神經が惡ければ聞えないのであつて、それで生れつきのもの又は生れてから病氣で聞えなくなつたものは聽覺神經の破壞若くは發育不全とされて居る爲、今に之が治療の良い方法が無いので洵に殘念な次第である。

暑休講習會

一、協和靑少年團指導員講習會、七月二十五日より二十九日まで五日間、協和會中央本部主催の下に新京南湖附近に於て開催

二、日滿教育者懇談會、滿洲國の國策及び現勢に對する認識を深め日滿兩國教育者の教學に關する意見を交換し集團生活を通して相互の親睦を圖る趣旨の下に在滿日本教育界、滿洲帝國教育會主催で七月二十九日より八月二日まで五日間、新京商業學校に於て開催

ラヂオ

けふの番組
【M・T・C・Y　新京放送局　十二日（水曜日）】

◇朝◇

六、〇〇（新京）建國體操
六、一八（大連）入港船のお知らせ
六、二〇（東京）ニュース
六、三〇（大連）初等滿洲語講座
六、五五（奉天）朝の修養　秩父固太郎
名僧傳（七）源空（上）
七、二〇（大連）朝の音樂（レコード）　龜山俊定
一、喜歌劇「ヂプシー男爵」　ヨハン・シュトラウス作曲
管絃樂　ブルーノ・ワルター指揮　管絃樂團
二、喜歌劇「天國と地獄」
序曲　オッペンバッハ作曲　マイロビッツ指揮　伯林交響管絃樂團
三、喜歌劇「詩人と農夫」
序曲　ズッペ作曲　フィドラー指揮　ボストン・ポップス管絃團
八、二〇（新京）氣象通報
八、二五（新京）建國體操
九、〇五（東京）經濟市況
九、三〇（東京）經濟市況
一〇、〇〇（大新）經濟市況
一〇、〇五（奉天）幼兒の時間（レコード）童謠おもちや箱
一〇、二〇（新京）家庭講座　貯蓄と家庭　滿洲中央銀行總裁　田中鐵三郎
一〇、四五（奉天）家庭メモ

◇晝◇

一一、五〇（奉天）料理獻立
一一、三五（大連）經濟市況
一一、四〇（東京）經濟市況
一一、五九（東京）時報
〇、〇一（新京）晝の演藝　琵琶　鳴呼尼港　泉旭春
〇、二〇（大連）舞踊小唄（講談社提供キングレコード）
一、祭花笠　三門順子
二、梅若　若松ちとせ
〇、三〇（東新）ニュース
一、〇〇（大連）經濟市況
二、〇〇（大連）經濟市況
三、二〇（東京）經濟市況
三、〇〇（東京）ニュース
氣象通報・ニュース
四、四〇（大連）經濟市況
五、二〇（新京）ニュース「鮮語」

◇夜◇

（新京）演藝「鮮語」
六、〇〇（錦縣）子供の時間　童謠と事曲
唄　田中圭子
同　久保田滿喜子
箏　草崎美壽江
同　中村紀久子
尺八　草崎主山
一、小狸小兎　二、勝つた龍の子　三、海の風山の風　四、ピョンピョコリ　五、赤い牛の子　六、霞の踊り
六、二〇（大連）コドモの新聞
六、二五（錦縣）趣味講演　西海口祈りの水浴　中田例吾
七、〇〇（東京）ニュース
勤勞奉仕隊ニュース・告知事項・今晩の番組
七、三〇（新京）歌唱指導　指導　岩田達雄　新京放送合唱團
一、興亞勤勞報國の歌　二、滿洲行進曲
七、四〇（東京）講演　法幣と英國　宮澤胤男
八、〇〇（大阪）＝大阪金岡陸軍病院野外演藝場より中繼＝　傷病將士慰問の夕
一、詩吟　九月十三日夜・外　吉村岳城
二、歌謠曲　戰場追分・外　伴奏　大阪ラヂオ・オーケストラ　音丸
三、漫才
四、歌謠曲　黄昏の戰線・外　東海林太郎　伴奏　大阪ラヂオ・オーケストラ
五、浪花節　魚屋本多　吉田小奈良
九、三九（東京）時報・ニュース・ニュース解說
氣象通報・ニュース・告知事項・明日の番組
一〇、三〇　今日のニュース
一〇、四〇（哈爾濱）北滿の時間（露語）

東京無線

琵琶　鳴呼尼港　【後〇・〇一】泉旭春

風誘ふ世を浮雲の絕間なく、又もや曇る五月空、朔北雪は消えねども、寂しくたどる夢路さへ、同胞、今はあわれやアムールの逝きて還らぬ泡沫の、消えてはかなくなりにけり、過激一派の其の中に、兇惡無道のパルチザン、尼港に迫ると聞ゆれば石川隊長を始とし守備に任ぜし五百余士、兵ならぬ者までも銃持ち劍提げて、決死の覺悟ぞ極めける、萬にあまれる敵軍は、雪を踏立てゝまつしぐら嵐の如く襲ひ來て、勢あらく攻寄ればあな誇りがの物めきや、大和丈夫知らじかと雄詰高く戰へり、味方は元より無勢にて殊死奮闘の甲斐もなく、刀折れ彈丸は盡果てゝ腹をほふつて死するあり、或は萬歳唱へつゝ焔に投じて果つるもあり、あゝ戰ひの幾日に尼港の街は紅の、血汐に雪をぞ染めにける、すでにほうるいチエネラフを、奪ひ取つたる敵軍があなや打ち出す砲彈は、忽ち領事館に火を發し渦巻きかへるくろけむり、進退茲にきはまれど重きを荷ふ雙の肩、石田領事は健げにもあく迄務つくさんと熱き涙を押ぬぐひ、いとしき妻子三人をば我手にかけて先立てつ、敵に最後の談判を試みんとして奮然と萬死のちまたに赴けば天なるかな命なるかな飛び來る敵の彈丸のため空しく息は絕えにけり、時は彌生の十三日（下略）

豆ニュース（七月十二日）

◇三中井百貨店
▲夜間營業　▲大陸觀光寫眞展　▲夏物大賣出し　▲實用呉服雜貨格安賣出し　▲岐阜提灯陳列　▲シロップ賣出し　▲籐製家具陳列（五階）　▲冷藏庫新製品取揃ひ　▲男物パナマ草履品揃ひ　▲新鮮實食料品豐富　▲暑中御見舞用品　▲御盆用品格安賣出し　▲ネクタイとワイシャツ陳列　▲海水着小型賣出し　▲夏のベビー用品（一階）　▲趣味の日傘陳列

◇ニッケ
▲夏の協和服サービス　▲中元御挨拶セール　▲ウッドビーズハンドバッグ

◇平本洋行
▲ノータイシャツ揃ひ　▲縮シャツ　▲ボロシャツ揃ひ　▲パナマ帽陳列

◇寶山百貨店
▲夜間營業　▲日傘と履物陳列（一階）　▲婦人子供夏服地陳列　▲ホームドレス陳列（二階）　▲趣味の和陶食器陳列　▲高級グラス食器陳列　▲京呉服格安賣出し　▲夏の協和服特價調整　▲詰合せ食料品賣出し　▲箱入萬年筆とシャープ賣出し　▲岐阜灯と團扇陳列　▲箱入シャツ靴下賣出し　▲慰問品賣出し　▲シロップ賣出し　▲夏の和洋家具陳列　▲夏のネクタイとワイシャツ陳列　▲パナマ帽と麥藁帽子（一階）　▲夏の蒲團と座蒲團賣出し　▲日用品大特賣（地階）

◇金泰百貨店
▲中元御贈答用品賣出し　▲提灯陳列　▲皿付コップ花瓶　▲カットボウル　▲ビールセット　▲食料品各種　▲純綿チヂミシャツ　▲本麻夏シャツ　▲ワイシャツとネクタイ　▲シロップ賣出し　▲最新流行新型カメラ荷着　▲趣味の扇子賣出し　▲パナマ帽ストローハット賣出し　▲みしまや呉服店　▲夏物一掃大賣出し　▲丸美屋　▲中元用品特價大賣出し

逃避

太田敦雄

綠林の間から赤い屋根が夕日に映えて美しく見える。高台の官舍街のだらだら坂を降りて突きあたれば公園の入口である。鶴田と僕は坂を降りて期せずに公園の溜池を前にした露台に腰を下ろした。賑やかに泣いてゐた蛙も二人の足音にハタとやんだが數刻して又鳴き出した。

「〇〇を辭すのは眞實か」僕は聞いた。

「先刻も云つたやうに辭めて坊主學校にでも入らうかと思ふんだが……」鶴田が答へた。二人はだまつて水面をみつめて居た若葉の馨臭い微風が水面を渡つてくる。

鶴田と僕は過去三年來の親友である、所謂一つ釜の飯を喰ひお互ひに氣脈相通じ志士的感激を抱きながら建國事業に從つたのだ、胡沙吹きまくる砂漠の中を驅け乍ら蒙古人の啓發につとめたのも夢のやうな氣がする。炎え立つ情熱と建國の念に瞳を熱くする小英雄感に醉つた二人であつた、が其の後鶴田は此方に働き僕も後を追つて共に働いてゐたのだが……。

二日程前鶴田のアパートを訪ねた時に一寸出た話であつた。その時は別に氣にしなかつたが、今日の彼には眞劍さが窺へてウッカリ出來ないと想ひお互ひに愼重な態度なのだつた、その原因は分り過ぎる程知つてゐる僕にはどう云つていゝのかハッキリは云へない。

しばらくして鶴田は「何だか、鉛りのやうな重壓を感じながらだね、それと戰ひ生き續ける事が嫌になつたのだ」僕は云つた。

「然それが現在の一般の社會狀勢だ、君一人ぢやないよ、それぢや匪避ぢやないか、卑怯だよ」

「確か逃避かも知れない……が今の〇〇の社會狀勢又我々連中の生活態度を窺たつて分るやうに何等の目的もない、全くデカダンだ」

又續けた。

「第一僕の生活態度を君が見ても知つてゐるだらう……僕は……己れの眞實の言葉を裏切り、苦惱や誠の愛を退ぞけ安慰に流れよるとして、正しい心をふみにじり、頽廢のどん底に蠢めくモヒ患者か、阿片吸引者のような姿だ、最も眞實であり誠實であると思つた行爲もこの糞溜の世の中には何等かの効果もなかつたのだ眞面目になつて考へる勇氣もなくなつてしまつたのだ」

これが三年前蒙古の草原で轡を並て意氣に燃えた鶴田の言葉とも思へぬ弱々しさがあるが……巳を省りみるとき無理からぬことだと同感せずにはゐられない氣がした

向ふ岸で子供達が石を投げ込む水音がジャブジャブ聞えて來る、靜かであつた水面も次第に大きく波紋を畫いて此方の岸に打ちよせて來た、二人は煙草を出して喫した

一服喫つて僕は云つた

「この前二人で話したことがあつたね時代を動かすものは主義でなくて個性だつて、それに働く情熱は苦しみに堪へ忍び生き續け乍ら、良心の上で、最後まで眞實を求めて行くことである、それは生きて行く生成流轉の辯證法であり英雄の運命であるつて、君には情熱はあるが持續性の欠げた突發的な激情みたいな奴ぢやないのか、純粹であつて欲しいね」

鶴田は答へた。

「情熱はあるよ……然し僕は先刻云つたやうに巳つて奴を深く切り下げて考へてみた姿なのだ、拂つてもおつかぶさる重苦しい……があるのだそれと戰ふよりも、逃れて、何ものにも闘りのない虚無の中に住み乍ら人間のため信仰のため統粹に生きたい、これが結論だ、それで內地に歸り坊主學校に入り靜かに黙想―してみたのだ」

僕は何にも云ひたくなかつた……社會的活動力も希望も勇氣も無くして、そのジレンマから遁れて行く鶴田には神への光りが輝いてゐるのだと思つた、日は屋根の彼方に落ちて街燈が青白く灯つてゐる子供達は歸つて行つたのだらう、水面は靜かに蛙は鳴き續けてゐる、僕は云つた。

「君の氣持は分り過ぎる位い分る、僕も同感だが……この邊亂した綜合大陸に棲する民族のことを思へば今遁れることはよくないと思ふ、あまり主觀的に考へ過ぎやしないか」

「自分一人の歩むべき方向もつかずして、迷へる羊を救へと云ふのか…羊と一諸に迷ひ子になつて共倒れになりたくはないね」

「初めの內は誰しも行きつまる事はない滿洲に來た時は珍らしくのんびりした氣持でこれを忘れて風俗や、風習を知るために暇もない、大陸的な雰圍氣を滿喫するものさ……落ち着いて已れに習つて見る時……愕然とするものがある」

何にも知らずに暮せる人は幸福だ……後日君と話そう、ではおそくならない內に歸らうじやないか」彼は立上つた。僕も立つてそこを出た、向ふ岸の林の上には不夜城かのやうな、どこかの寮であらう高くそびえ立つてゐる。

國境部落

中原閑古

冷い鐵の脚輪を鳴して四人は黃色の河水を運ぶ
回々敎寺の赤壁に六日の光の舞踊
平和な部落から阿片の歌が消えて彼は何處に行く
だんだを鳥が鳴く一つの生命の昇天西側高地に堙鬼は骨を燒く
暗雲の彼處にハバロスコの街は世紀の秘境か
不氣味な大氣流に越境者の鋭い眼光眞紅の罌粟の花は切り取られ部落は崩壞に戰のく
やがて部落に血と肉の花が咲く
東部國境よ想ひ出の部落の人々よ
その歷史をすてゝ世界の叫びを聞け

――東部國境にて――

銃後を描く

―松岡讓「春闌」（『中央公論』七月號）―

これは立派な銃後小說である。さう言へば盡きる。主人公の養弟と、二人の實弟が應召出征し、次弟は戰死する。それまでの事をこまごまと書いて、兄としての一人の人間としての心情あふるゝさまを描き出した一作である。

「前の滿洲事變や上海事變の當時、子供の遊びが劍劇ごつこから、一ぺんに鐵兜姿の戰爭ごつこに變つて、全盛を極めたのに引きかべて、今度は流石にそれさへ少くなつた程戰爭が身近に感じられた。さうして到るところで日本精神の呼び聲が高くなつて來た。日本の歷史が變りかけて居た。世界の歷史も急テンポで動いて居る。大きな懸崖のやうな時代だ。それに直面しては民族も個人も飛躍して攀ぢ上るか、然らずんば奈落へ墜ちるより外ないのだ。奮起せざるべからずと宮城は自分を鞭撻するのであつたが、大きな時代の重壓はひしひしと迫つて來て、やゝもすれば息の根が止まりさうな感じがした。彼は書きもの机に凭れながら、今迄永年培つて來た自分の智識や行動の規準が無力になり、自然頭はまるでベルトの外づれた齒車やうに、從らに空轉を續けて居るに過ぎないのではないかと考へて、目の前に積み上げられた長い間かゝつた未完の勞作に向つて暗い溜息を吐きかける日が續いた。」

右の一節の如き、まつとうな感想であらう。因みに「春闌」とは出征に當つて弟が殘して行つた遺愛の蘭からさうづけられたものである。

別段これといふ新しい趣向もない、平坦に書きながされてゐて相當に感銘を與へる、さういふ一作である。

（御垣衛士）

映畫についての支那文人の見解

（二）　御垣衛士

6、トーキーはまだ生れたばかりの嬰兒でさる、それには無論悠久、偉大な前途がある、その持つ缺點は機械發達の過程に於いて、科學進步の過程に於いて改良され得るであらう。社會環境に生じた缺陷は社會變革の過程に於て完成される機會を持つものであるたとへば言語の如き、私はエスペラントを聯想する、私は英語が世界を征服するとは信じない、それは私が米國の資本主義は世界を征服し得ると信じ得ぬのと同じである。

7、トーキーが發達すれば無聲映畫はその生命を終るであらうか？ラヂオ・プレイは夭折するであらうか？それらは私達は豫言し得ない、ただ藝術發達の歷史から考察すれば私はさうした不幸は否定したい。演劇が發達してもパントマイムけやはり獨自に發展してゐるのである、それに歌劇樂劇、人形芝居、舞踊劇は活劇と一緒に併存し進步してゐる、ムーヴイもそれ獨自の發達の道を持つであらう、ラヂオ、プレイも獨自の發展をするであらう。

8、トーキーと活劇の將來、これも藝術愛好家が關心を持つてゐる問題である。だが何れにしても、活劇はトーキーの發達によつて消滅するものではない。活劇は肉體の藝術、言語の藝術、立體性を持つた藝術である、それには特殊の境地があり自ら死滅することは決してない、映畫が發達してから、演劇の技術はこれに刺戟されて進步した、同樣にトーキーの發達も演劇の技巧に多くの促進の機會を與へ得る、演劇工作に從事してゐる人々はかゝる好き機會を失つてはならぬ！

トーキーに關して

（洪靈菲）

トーキーを私はまだ聽かない。しかし私はそれは進步したものだと思つてゐる、それは聲と色彩を合一したものだからである―

トーキーと私

（邱韻鐸）

私はふだん映畫に余り關心を持つてゐない、トーキーもまだ聽いたことがない。私の頑固な觀念には、映畫は淺薄な印象を殘してゐる、今やトーキーについて多くのことが說かれてゐる、或ひは面白いものなのであらうだ、が私はさうした一般人に判らぬものを見聞きするより直接に舞台劇を見た方がいゝと思ふ。

トーキーの將來

（龔泳盧）

私達がトーキーを見、聞く時、私達は常に聽いても判らぬといふ困難を感ずる。だからトーキーが上映されるやうになつて以來、映畫館では反つて一部の客を失つたのである。私もその一人である。だが私はまた同時に、英米のフイルムを判る人も多いと思ふだがその他の國のフイルムはどうであらうか？字幕は飜譯出、來るしかし名士の講演みたいにも一人通譯がゐて譯するといふ方式に採用出來ないそれ故、トーキーはまだ現在充分精密に作られてゐるとは言へない、精密に作られるにしても世界語が普及しない間はひろく流傳し得ない。

或る者は映畫と舞台劇の違ひは、映畫には音がなく、迫眞たり得ないことにあると言ふ。トーキーが精密に作られ、又色彩が加はるやうになつたらそれは舞台劇に取つて代るであらうと

だが私はトーキーが舞台劇の地位に取つて代ることは永遠に出來ないだらうと思ふ。

映畫はもとより舞台劇が表はし得ないものをも演出し得る。だがまさにこのために映畫は分散しそれは舞台劇の如くに集中し得ない、映畫は多かれ少かれ面白さを挿入されてゐる、さらしないと觀客は疲れる、舞台劇は面白い動作を加へなくても觀衆を疲れしめない、舞台劇は取捨がよく出來てゐればよい。

映畫が觀衆に與へるのは一片の明暗の影である、舞台劇が覽衆に與へるのは整つた實體である。舞台劇は彫刻美術的特性を有してゐる。この點は映畫の短處である。

トーキーの發達は可能性がある、だがそれは舞台劇に取つて代ることは出來ない、―これが私の結論である、私は何もトーキーに反對するのではない、錢がある時には私は獸んで聞き見に行くのである

書架

本欄紹介希望の新刊は本社編輯局宛一部御送附相成度し（係）

△正金週報、二六號（橫濱正金銀行）

新京日日新聞
SEPTEMBER AUGUST JULY JUNE
ヰチヨウキケンキキタル！
チレウヤク アイフノ ゴヨウイ コフ
夏は胃腸の危險期です。梅雨期から盛夏へかけての不順な氣溫、高い濕度、打續く酷しい暑熱には健康人ですら胃腸障害を起しがちです。まして平素から餘り胃腸の丈夫でない方や慢性症狀のある方などは、分泌や蠕動機能の失調から食慾、消化力が激減するばかりでなく未消化物の腸內醱酵から腹痛、下痢を頻發させることが多いものであります。その上、この季節には冷たい飲み物や不消化な果物の攝り過ぎ、寢冷え等、暑さ故の不攝生から唯さへ弱つた胃腸を酷使しやすく、急性胃腸カタルの續發はいよ〳〵痼疾を惡化させる一方であります。かやうに胃腸を非力にすることは、單に榮養を低下させるのみでなく、全身の抵抗力をも弱めて潜伏結核の發病を容易にしたり、赤痢やチブス等、傳染病侵入の門戸を開くやうなものであります。
ですから、こゝ三四ケ月の胃腸危險期には、常に治療藥アイフを服用して慢性的な胃腸病の治療に努めるとゝもに、暴飲暴食、不消化物、腐敗した食物、過冷の飲食物、寢冷え等、急性胃腸カタルの原因となるやうな不攝生を愼むことが何より大切であります。又たとひ、急性胃腸カタルに冒されても、慌てることなく治療し得るやう、治療藥アイフだけは常備してゐて、惡疫の侵入を未然に防ぐのが夏の衞生常識でなくてはなりません。
治療藥アイフには病源、對症二重に働く作用があり、主藥が胃腸內壁の病變部に沈着して炎症を癒し、粘膜を强め、弛緩を引緊め、分泌や蠕動機能の異常を整へるとゝもに腸管內の有毒物質を吸着して體外に排出する等、廣汎な病源治療を營み、併せて胸やけ、噯氣、惡心、胃痛、腹痛、下痢、便秘、嘔吐、消化不良、食慾不振等の諸症狀をも消退して機能の恢復を速めますから、夏の急性症はもちろん慢性的な胃腸病にも打つてつけの治療藥として賞用せられます。
藥價
四日分 七十五錢
八日分 一圓五十錢
十七日分 三圓
特製十一日分 五圓
頑症には特製アイフ
便秘症には加减アイフ
▼全國到る所の有名藥店にあり▲
大阪市東區清水谷西之町
發賣本舖 順和商會
電話(東)五〇〇〇・五〇〇一・五〇〇二番 振替大阪三四五番
支店 東京市本鄕區眞砂町九番地 大連市山縣通九八番地
夏の胃腸病にはアイフ

銃後の努め强化へ
御通夜の徹底方を協議

吾等の生命線に護國の華と散つた皇軍勇士の遺骨送迎に際しより嚴肅、合理的に全市民の參加を求めてその實際効果をあげんと十一日午後三時三十分より日滿軍人會館に於て關東軍、市公署、停車場司令部、國婦その他の關係機關參集協議の結果國都で行ふ遺骨送迎、御通夜は事實上全滿の中心であらねばならぬといふことに意見一致し市民代表として于市長が祭主となり、御通夜の前に慰靈祭を行ふ外行事の實質的効果、徹底を期して

▲…花輪の如き一時的なものは物の不經濟を避け華美に亘らぬやうにしやうとの見地から出來るだけ遠慮し供物料として捧げる

▲…慰靈祭は午後九時より開始終つて御通夜に入り席上將棋、碁等の御通夜の雰圍氣を亂すやう娯樂は禁止す

▲…遺族の燒香は原則として遺族全部が行ひ場合に依つては代表燒香を行ふ

▲…驛より安置所に御遺骨行進中は兩側の行人は必ず頭を下げ行列參加の婦人はパラソルをさゝず、驛では御遺骨到着を知らぬ一般乘客のためにスピーカーをもつて一般に知らしめ整然たる行動を誘導する

▲…當日のラヂオ放送番組は慎重を期し、輕佻浮薄な歌舞音曲を停止するやう市より交渉する

等從來の遺骨送迎に際し銃後市民の當然とるべき具體的方式を明確に決定午後五時半閉會した、なほ燒香者の順序は左の如く決定をみた

一、祭主
二、遺族
三、軍司令官
四、參謀長
五、關東軍代表
六、在京部隊代表
七、在滿海軍代表
八、滿洲國代表
九、政府並に各機關代表
十、在郷軍人代表
十一、國婦代表

場合に依つては料理店解放も可
住宅難緩和に臨む警察當局
應急對策五項を設定

全滿各都市に於ける住宅難の激甚に當面して治安部では住宅難緩和を圖り民心の安定と建設開發工作の圓滿なる遂行に資する方針の下に住宅難應急對策として建築統制及び經濟取締の見地から警察として臨むべき五項の要項を設定、十日植田警務司長の名を以つて全滿警察に通達した、これによつて今後住宅難問題は主要項に準據した警察力の發動を以つて早急の緩和方法が講ぜられることになり多大の期待がかけられてゐる

△第一項、不足住宅の建築に關しては（一）差當り人口增加率甚だしく住宅難激甚を極める都市を先にし、資材配當計畫は政府で決定すること（二）、建築實施及び統制機關は房産會社に擔當せしめ、當該地市公署に住宅委員會を設け、各機關が積極的に援助すること、なほ敷地、資材、工事能力、家屋の規格様式についても規定が設けられてゐる

△第二項には最近問題となつてゐる特殊會社等でアパート、ホテル等の既設住宅買收を制限し之をなさゞる様從遞すべしと一本針を打つてゐる

△第三項には不急建築の制限に關して、料亭、カフエー等の新築増築等には資材を交付するなと嚴命

△第四項は賃貸價格の制限について（一）家屋の標準、賃貸價格を公示せしめる、家賃の引上又は賃貸契約の所有者側よりの解除は原則として認めずと明記して横暴家主の痛いところを壓へてゐる（二）不當家賃は嚴重取締る

△第五項、賃貸爭議の調停は調停法を活用せしめる

以上であるが右に關する處置として

一、賃貸價格の制限は暴利取締令を運用
二、居室の賃貸に付いても本要項を準用する
三、社宅、個人住宅、寺院等で空室を有するものに對しては協和會其の他の機關に依り積極的にその利用を勸奬するが、場合によつては料理店其の他國民生活上の必要大ならざるものは營業を一時停止せしめ、之に住宅等に轉用方を考慮せよと天井知らずの好景氣を續ける歡樂街に冷水三斗の痛棒をも用意してゐる

四大國策遂行に即應
適正物價を目標
第一回物價委員會

政府は十一日午前十時より國務院會議室に第一回物價委員會を開き政府各部關係官、特殊會社首腦部その他約七十名出席、近く實施さるべき物價統制方策につき種々連絡協議を遂げ正午散會した、即ち右會議においては今後物價統制の對象となる左の如きテーマを決定すると共に各部門別統制方策作成の主査を任命し各テーマにつき出席者より各種參考意見の開陳ならびに自由討議が行はれたが、統制の根本方針については日本の中央物價委員會における如く具體的方針を明示しないことゝし、從來價格乃至配給統制の實施されてゐなかつた所謂非統制物資につき直ちに具體的統制方策實施に突入することゝなつたが、大體の實施方針としては日本におけるが如き物價引下げを目標とする消極主義をとらずして産業五ヶ年計畫、開拓、北邊振興、民生安定の四大國策遂行に即應する適正物價の形成を根本目標とするもので必要なる場合には逆に引上げを行ふこともあるべき意向を有してゐる、なほ物資物價委員會中より分離獨立して設置された右物價委員會は總務長官を委員長としその下に各部門別主査ならびに官民中より選出された各小委員會のほか政府關係各部局處科長以上より成る幹事會とを以て組織され幹事長には企畫處長が就任し原案の完成次第隨時委員會に諮つた上可及的速かにこれが實行に移して行くことゝなつた、物價統制の對象左の如くである（括弧内は主査）

一、糧穀價格統制＝米、小麥、高粱、包米、粟等（小平糧穀會社理事長）
二、生活必需品價格統制（高橋商工公會副會長）
三、住宅家賃統制（山田房産副理事長）
四、勞銀統制（佐々木勞工協會理事）
五、購買力規制の方面よりする物價對策（田中中銀總裁）
六、鐵道運賃、會社利益金ならびに配當統制（吉野滿業副總裁）
七、物價に關する對民衆啓發方策（未定、協和會より選出の豫定）

さても心配になる煉瓦の合理配給
こゝも切符制實施か

土建最盛期の煉瓦需要は昨今急激なる増加を示しつゝあるが、地方煉瓦製造用炭の供給制限實施のため兎角生産數量が需要にマッチすることが出來ず、闇取引、買溜め等の惡現象を惹起しつゝあるので、政府は新京煉瓦製造業者をして一般民需への配給を停止せしめ專ら住宅建築に專念してゐる房産會社に對してのみ獨占的配給を行はしめてゐる、政府當局がかゝる應急措置に出でたことに對し土建業者の一部には政府當局の疾風迅雷的對策の眞意が不明なりとして寄り寄り協議を重ねてゐるが、政府當局の意圖するところは單なる民需抑制でなくて住宅建築の積極化を促進する上に必要止むを得ざる措置を取つたに過ぎないとし、今後官需、特需、民需等に對する煉瓦供給能力を調査研究の上一般民需への配給をも再開すべく準備を進めてゐる、たゞ然しこゝに問題となるのは煉瓦用炭の不足であつて本年度物動計畫に基く煉瓦製造用炭割當數量は三萬七千キロトンであるが、うち一萬二千キロトンは既に費消されてゐるので殘り二萬五千キロトンを以て如何にして合理的生産並にこれが配給を確保するかゞ殘された問題で、今後民需配給に關しては切符制當制の如き强力なる配給統制が實施されるものとみられる

敷島高女生徒肩章作りに大汗
夏休みの勤勞奉仕

兵隊さんは外蒙に、中支南支に戰つてゐるのだ！私達も無爲に遊んではゐられない…と敷島高女では大浦校長が先頭に立つて十一日から五日間全校七百の乙女が擧つて集團勤勞奉仕作業を行ふことになつた、先づ奉仕第一日の十一日、一二年の生徒四百名は午前八時手に箒、鍬、移植鏝等作業七ッ道具を携帶して新京神社に集合、皇軍の武運長久を祈願してのち三田村先生の指導で一齊に境内の清掃作業を開始參道側には見る見る雜草の山が出來る、參道は掃き清められる、お晝までにはすつかり見違へる様に綺麗になつた、一方三、四年生及び專攻科生三百四十名は各教室に陣取り三木先生の指導で軍から委囑された千五百組三千個の兵隊さんの肩章作りに汗だく、白魚の様な手が忙しく動いて二ッ星、三ッ星が次々に出來上つて行く「却々手のかゝる仕事ですが二日間にはやり上げます」と靑木先生は大した張り切り方、午前中約八百個の肩章が綺麗に出來上つた、なほ午後は三時迄行進訓練をなし、夜は集團訓練として各學年別に各一日宛學校に宿泊することになつてゐる、第二日以後の作業プランは左の通り

△十二日（水）勤勞奉仕第二日、肩章修理、神社清掃午後水泳、夜三年學校に宿泊
△十三日（木）勤勞奉仕第三日、農園除草、夜二年學校宿泊
△十四日（金）勤勞奉仕第四日、午前忠靈塔除草、午後避難演習、夜一年學校宿泊
△十五日（土）勤勞奉仕第五日、午前公園清掃、報告式午後映畫

驛待合室で盜む
牛島少年捕はる

十日午前二時頃鐵道警護隊越智刑事が新京驛構内を密行中三等待合室ベンチに假睡中の和服邦人の懷中を探る不敵の牛島人少年を隊に引致取調べたところ朝鮮慶尚北道大邱府生れ住所不定朴浩敏（二二）で七日單身職を求めて來京所持金を費ひ果し空腹に堪りかねての犯行と自白した

馬車夫踏切御難

十日午前十時五十五分頃鐵道北三不管居住荷馬車夫張文貴（二六）君は石炭を送り屆けての歸途鐵北張牛屯踏切で貨物列車の驀進して來るのに氣付かず横斷せんとした際機關車前部に馬は刎ねられ斃死し本人ははずみを喰つて顚倒擦過傷を負つたが已の過失が明らかなところから沒法子で泣寢入となつた

平木警長に褒賞

中央通署警務係勤務平木勳夫警長は八島通派出所勤務中交通事故發生當時の交通整理が時宜に適したものと認められ全署員の範とするに足ると十一日午後田村副總監より金一封を贈られた

鹵獲の水陸戰車
順天公園で性能試驗

第一次ノモンハン事件の際五月廿八日ノロ高地附近の戰鬪において興安警備軍索特部隊の勇士によつて鹵獲された多數戰車中の一たるソ聯製水陸兩用戰車の性能試驗が十一日午後一時より竹久治安部官房長、桑原監區長立合、坂本軍屬操縱の下に順天公園池に於いて擧行された、さすがに機械化裝備を誇るソ聯製だけに時速陸上四〇キロ、水上九キロ重機一を備へると云ふ優秀なもの、エンヂンの音も悲しげに巨體を水にぽつかり浮べたり旋回したり陸に上つたりして見物人からヤンヤの喝采を博した【寫眞は性能試驗中のタンク】

新京驛で掏つて
南新京驛で御用

十一日午後六時頃南新京驛で大連行列車に乘車せんとする滿人少年を宮下、于兩警護隊刑事が擧動不審で取調べたところこの者は錦州省生れ住所不定無職李德海（一六）と云ひ靴の中に大枚百八十九圓を隱してゐるので出所を追及したところ年に似合はず係員を手古摺らしてゐたが、八日新京驛出札口で午後六時三十分頃急行券を購入中の中央電話局技術課内澤市雄氏のポケットから百八十九圓入りの財布を掏摸取つたものとみられ新京驛から乘車すれば發見される恐れあると考へ南新京驛より半額乘車を企てゝ捕へられたもの

燒鳥屋荒し御用

去る五日記念公會堂裏の燒鳥屋岩田菊枝さん方で二十七圓を僞名で無銭飲食した詐欺犯人について嚴探中十日午後十一時頃ヤマトホテル裏燒鳥屋で飲酒中を擧動不審で中央通署員に連行された、大阪で詐欺前科三犯の本籍岡山縣那賀郡川原村、住所不定、元機關手現在無職藤田稔（三五）であること判明、事實を自白した外三回に亘つて詐欺竊盜を働いてゐた

新京米穀同業組合
國防費へ献金
組合解散にあたり本社へ寄託

十一日午後、市内朝日通り米穀商中野洋行主中野常次郎氏が來社、國防献金百十圓三錢を寄託、直ちに所定の手續きを了したが、右は新京米穀同業組合が新設の米穀配給組合に加入するにつき舊組合を解散するにあたり、組合費の殘額處分につき協議の結果、拂戻しも不可能なので此の際國防費の一端に献金するが一番有意義だらうといふことに決定、組合を代表して中野氏が來社した譯で、新京米穀同業組合は大正十二年七月十四日の創立で來る十三日解散式を行ふまで滿十六ヶ年の歴史を有ち組合創立當時は七、八人の組合員で取扱年額も五、六萬圓に過ぎなかつたが現在では業者百余名、取扱高も八十萬から百萬といふ數字を示し全く感慨深きものがあると語つた

海軍へ献金
大新京料理店組合從業員

大新京料理店組合では貯金報國を目指してかねて樓主、酌婦、仲居さん等全從業者は打つて一丸となり一錢貯金を實施これをもつて嚢には陸軍側に對し金五百圓を國防費として献金したが、今回は海の護りに任ずる無敵海軍に對し献金することゝなり十一日午後二時組合長小西萬次郎、副組合長李甲龍兩氏は組合を代表して新京海軍武官府を訪れ金五百圓の献金を申出た、武官府ではこの銃後女性の赤誠に感激早速献金手續きをとつた

龍山勝つ
對新京倶戰 2A―0

來征軍龍山鐵道局野球チームを迎へて國都に於ける第一試合對新京倶樂部戰は十一日午後四時四十五分より兒玉公園球場に於て大辻（球）花滿、八幡（壘）三氏審判、新京倶樂部先攻で開始、兩軍共に意氣揚らず二回迄無爲に終つたが三回、四回に龍山軍新倶高橋投手の緩球をねらつて一點宛を入れ、新倶投手を大田原に代へ得意の曲球で奮闘防禦したが、打擊振はず遂に得點出來ず二A對零で惜敗した閉戰六時十五分

新　000000000―0
龍　001100000―2A

◇メンバー
（新京）島義學林藤崎崎橋原浦木上
谷加藤藤小齋山岩高大田松鈴三
9548832打11688
（龍山）中大山石藤森前三持川淸會
島石口原波田田村田上澤田
8997583124打46

男子市民排球

雨のため延期されてゐた男子新京市民排球大會B組戰は來る十六日兒玉公園競技場で擧行されることになり、組合せを左の如く決定した

△一回戰　A第一國高對鑛工技術院、B第二國高對中銀、C流星隊對經濟部、D中央商業對市公署、E指紋管理局對アルプス
△二回戰　A對B、C對櫻木小學校、D對文化國民、E對交通部

相撲五日目勝負

（勝）　（負）
若浪（寄切り）藤ノ里
巴潟（押出し）番神山
松ノ里（寄切り）靑葉山
倭ノ岩（寄切り）小松山
神東山（寄切り）高登
幡瀨川（拂落し）大邱山
楯甲（寄切り）綾若
兩國（上手捻）富士ヶ嶽
綾昇（寄切り）大浪
安藝ノ海（寄切り）鶴ヶ嶺
佐賀ノ花（外掛け）駒ノ里
五ッ島（吊出し）旭川
磐石（寄切り）龍王山
肥州山（吊出し）金湊
出羽湊（下手投）鯱ノ里
名寄岩（腰投げ）鹿島洋
羽黒山（吊出し）玉ノ海
男女ノ川（寄切り）鏡岩
前田山（寄切り）双葉山
打出し七時五十分

「仕事は空間である」ある宴會の席上又もやかゝる名言？を吐いたのは武藤弘報處長である▼わしが協和會に行つたときは協和會のものであり、國務院に歸つて來たときは政府の役人となる、これ實に空間のなせる術であり、内務局が總務廳の地方處となるは實に人間が總務廳の直系になるといふ空間の消滅なり▼といふ更に「組織と人」があつて仕事がない場合、ごた〳〵が起る」ともいつた、滿映さんあたりはどうもこの好例に當りそうだが、必要があつて組織と人がなかつた場合もごた〳〵起るとはいはなかつた、その逆も又眞なり、明哲處長知つてはゐるとは思ふが

女人果（八十二）

小栗虫太郎作　中島喜美書

入仙寨の悲劇（伸子の手記）（2）

しかし、子岐の眼は、ます／＼暗く翳つてゆく。

（到底この戀は、苗族軍の撤退がないかぎり、なし遂げられるとは思へぬ。

かなしい、不幸な、絶望的な戀—。

それに、この少女を陷し入れるやうなことがあつてはならぬ。

さうだ、此處で自分は、犧牲にならう。伸子を、この部屋に鎖じ込めて爺やをやり、母の頴江にこのことを告げさせやう。）

さうして暫く、眼でおくる純潔な愛撫を樂しんでゐた。

ともすると、睫毛が濡れ、戀の終りの、かなしい影がせわしく泛びあがつてくる。

『ちよつと、爺やに食事を云つてきますからね。灯りを消すまで、窓の戸はそのまゝにして置いてください。』

『ア、素晴しい』

伸子は、驚嘆したやうに、叫んだ。

『はじめて、私、お立ちになるのを見たわ。』

しかし子岐は、眩暈をこらへて、やつと立ちあがるのだつた。

『それに…お歩けになるし』

『……』

『あゝ、歩けるわ。こんな事なら、臥つてゐて鬱々としてゐるより、どんなに良いかもしれない。』

それに、子岐はやつと微笑んで見せた。

しかし、動悸は早く晦むやうな眩暈がする。

死期は…すでに彼には、數えられるほど分つてゐる。

『でも、なんだかお危ないやうね、下の、爺やのとこならあたし行つて來ますわ。』

『いゝよ。かうして、苦しいけど馴れなきアいけないし、第一、君だと人目につく恐れがある。』

さうして、子岐は、伸子を一歩ごとに離れてゆく。

（もう、二度とは見られぬ）

闇越しに、振りかえつてもう一度伸子の顔を見た。

呼び返してくれたら…

と念じながらもこれが別れの、情の罩つた接吻を、愛くるしい眼許に投げた。

（さようなら）

が、その時—。

それまで聽えてゐた、車案山子の音が絶えたのである。

向ふの水田に、キイ／＼廻りながら鳴く、車案山子がある。

その音が、ふと杜絶えたかと思ふとぐるりには、星空を黒く區切つて四五人の人影があらはれた。

銃把の閃めき角灯の光り—それは云はずと、子岐には死を意味する、苗族軍の兵士にちがひない。

『あつ、あれ、子岐さま』

『なに、どうしたの、君』

子岐は、伸子の聲に引き摺られ、寢床へもどつてしまつた。

『あれですわ、あれ、なんでせう?』

伸子が、眼覺くもさいしよに見付けてしまつた。

顫えるやうな聲で

『し、靜かにして』

身體ごと投げかけた。

とたんに、ぐいと伸子は抱き締められた。

『落着いて、靜かに…』

『あ、あれ、兵士ぢや…』

『いや、何でもない、たゞ、靜かに、ぢつと落着いてゐませう。』

伸子を胸に抱へて、ぢつと息を凝らしてゐるうちに、もう望みもなく、これなり、狹まる網のなかへ囚へられるのかと思つた。

とその時、階段の下から重々しい跫音が響いて來る。